

Architecture / Design / Education / International Exchange

NICHE

工学院大学建築学部同窓会誌

<http://niche-almuni.com>

ダイジェスト



2014 vol.37

日建学院 合格実績
 私たち日建学院は、学ぶ人の今とこれからを全面サポートすることを誓います。

1級建築士 最終合格占有率(%)

業界実績 No.1

合格占有率 **55.1%**
 1級建築士 212,708名
 2級建築士 117,264名

合格者の2人1人は、日建学院の卒業生です。

祝 工学院大学
 おめでとうございます!
 25年度1級建築士
 学校別合格者数ランキング3位
 (全国建築系学校約220校中)

あなたのペース・あなたのスタイルで
 資格取得が出来るよう、
 日建学院はあなたの夢を
 全力でバックアップします。

一級建築士合格実績No.1 ◆全国の一級建築士数212,708名*に対し日建学院出身者117,264名、日建学院輩出一級建築士占有率55.1%! (* (財)建築技術教育普及センター発表の昭和55年~平成24年累計)

日建学院

- 建築関連**
- 建築士
 - インテリアコーディネーター
 - 福祉住環境コーディネーター
 - 建築設備士
 - 構造設計一級建築士
- 建設関連**
- 施工管理技士
 - 給水装置工事主任技術者
 - 造園施工管理技士
 - エクステリアプランナー
 - 第二種電気工事士
- 不動産関連**
- 宅建
 - 土地家屋調査士
 - 測量士補
 - 管理業務主任者
- 法律・労務・公務員関連**
- 秘書検定
 - ビジネス実務法務検定
 - 公務員
- 税務・会計・金融関連**
- ファイナンシャルプランナー (FP)
 - 日商簿記
- 流通・広報関連**
- 販売士
 - PRプランナー
- 語学・教育関連**
- 日本語教育能力検定
 - 中国語能力 (HSK) ネット試験

【縦書き】でも【横書き】でも、使うならやっぱり『オレンジ本』

2014年版 [平成26年版]

建築士試験に、
 建築実務に、
 2014年版も選べる

『オレンジ本』

好評発売中!

横書き
 建築基準法関係法令集
 2014年版 (横書き)

縦書き
 基本建築基準法
 関係法令集
 2014年版 (縦書き)

試験会場持ち込み可

2013年版
 紀伊國屋書店・ジュンク堂書店

販売数 No.1

※紀伊國屋書店PubLine、
 ジュンク堂書店BIGNET調べ
 (2012年11月~2013年10月)

「横書き」お買い上げの方にもれなく、特別プレゼント!! 建築士試験によく出る! 主要法令(条文)アンダーライン集 協力:日建学院

全国47都道府県
 建築士累計輩出数 27万人超!

日建学院

日建学院コールセンター 0120-243-229 日建学院 検索

株式会社建築資料研究社/日建学院 東京都豊島区池袋2-50-1 受付/AM10:00~PM5:00(土・日・祝日は除きます)



**確認申請は
 住宅性能評価センターへ
 正確・迅速・丁寧な対応を、お約束します。**

■事業内容

- 建築確認
- 住宅性能評価
- [フラット35]適合証明
- 住宅瑕疵担保責任保険検査
- 長期優良住宅
- 住宅版エコポイント
- 住宅省エネペリキング
- 認定省エネ住宅
- 低炭素住宅

業務区域
日本全国

■代表取締役

田野邊 幸裕 工学院大学 昭和44年卒業

※お近くの営業所から日本全国の申請ができます。

■本社:東京都新宿区新宿 1-7-1 新宿 171ビル3階
 東京メトロ丸の内線 新宿御苑前駅 3番出口隣接
 ☎:03-5367-8730(代表)

- 東北地区出張所:宮城県仙台市 ☎:022-292-3051
- 北関東地区出張所:栃木県宇都宮市 ☎:028-610-7140
- 中関東地区出張所:埼玉県さいたま市 ☎:048-661-7711
- 東関東地区出張所:千葉県松戸市 ☎:047-704-6151
- 西関東地区出張所:東京都町田市 ☎:042-709-0420
- 関西地区出張所:大阪府大阪市 ☎:06-6885-3670
- 山陰地区出張所:島根県出雲市 ☎:0853-62-5931
- 中九州地区出張所:福岡県久留米市 ☎:0942-36-6580
- 西九州地区出張所:長崎県佐世保市 ☎:0956-42-5401
- 東九州地区出張所:宮崎県宮崎市 ☎:0985-35-5547
- 南九州地区出張所:鹿児島県鹿児島市 ☎:099-208-2400

各地区所在地
 事業のご案内

- 就職活動中の学生の皆さん! 当社では、一級建築士はもちろん、建築基準適合判定資格も取得できます。
- 一級建築士の方・建築基準適合判定資格者の方! 当社で、審査者・検査者として活躍しませんか?
- 工学院大学卒業生の在籍者数:43名

☎03-5367-8770(管理部・総務経理課)までご連絡ください。

採用情報

建築学部同窓会は、現役学生の為の支援講座を開催しています。

建築学部同窓会は、現役学生の為の支援講座を開催しています。

卒業年の合格を目指す 2級建築士 工学院大学 アカデミックコース

インテリアコーディネーター講座

建築士の基礎から実務まで、確実に実力を積み上げ、合格へ導いてくれる学習です。

未来のために「今」できることを考える!

講座風景

皆さんは、日々知識の習得に励み、アルバイトや仲間との交流を通じて、「今」しかできない、貴重な経験を重ねていることと思います。学生時代は、そうした貴重な経験や体験ができる場であると同時に、近い将来、自分が進む路を方向づける場でもあります。インテリアコーディネーターは、建築・不動産業界での仕事に生きる資格であるだけでなく、資格にチャレンジする過程で得る知識は、実務に就いた時に必ずや皆さんの助けとなるでしょう。また、就活に於いて有利な立場に立てることは言うまでもありません。



自分自身の未来のために、学生である「今」できることにチャレンジしませんか。



①就活に役立つ!

皆さんの人間性や個性を面接だけで企業側に伝えることはなかなか難しいですね。目指す企業に就職するために、企業研究やOB訪問をし、面接準備を進めるのが一般的な就活対策ですが、その他にも**自身の能力や強みを分かりやすく企業側に伝えることができるのが「資格」**です。「資格」はそれ自身が価値のあるものですが、就活において資格は「**目標に向けて努力をし、結果を出した人物**」として評価されます。「住」に関する多くの業界で活かせる資格です。



②知識が生涯の財産に!

建築・住宅・インテリア関連の仕事に従事している方でも、インテリアを基礎からしっかり学んだという方は意外に多くありません。**受験対策を通じて得る知識は、必ず実務で役に立ちます。**しっかりした知識・教養に裏打ちされたスキルは、**生涯を通じて皆さんの大きな財産**となります。比較的時間に余裕のある「今」こそチャレンジに最適なタイミングです。

より受講しやすく、より理解しやすい講座へリニューアル!

日程	学習内容
1 6月1日 日	オリエンテーション/【第1章】ICの誕生とその背景/【第2章】ICの仕事
2 6月8日 日	【第3章】インテリアの歴史/【第4章】インテリアコーディネーションの計画①
3 6月15日 日	【第4章】インテリアコーディネーションの計画②/【第4章】インテリアコーディネーションの計画③
4 6月22日 日	【第6章】インテリアの構造・構造と仕上げ①~【第6章】インテリアの構造・構造と仕上げ③
5 6月29日 日	【第7章】環境と設備①/【第7章】環境と設備②
6 8月7日 木	【第7章】環境と設備③/【第7章】環境と設備④
7 8月28日 木	模擬試験1(模擬試験・解説)
8 9月7日 日	【第5章】インテリアエレメント・関連エレメント①~【第5章】インテリアエレメント・関連エレメント③
9 9月21日 日	【第8章】インテリアコーディネーションと表現技法/【第9章】インテリア関連の法規・規格・制度 最終確認講義
9 9月28日 日	模擬試験2(模擬試験・解説)
10 10月5日 日	答練講義1/答練講義2
10月12日(日) インテリアコーディネーター1次試験(予定)	

- **試験前の準備期間が2ヶ月から4ヶ月へ**
合格に必要な実力が段階的に身に付く、ゆとりのあるスケジュールに改良。早期から学習を始めることで、予習と復習に十分な時間が取れるため、試験対策以外にも、大学の講義や将来の実務で役立つ知識まで、より密度の濃い学習が可能となります。
- **学内スケジュールに配慮した講座日程**
より多くの学生にスキルアップをして欲しいとの願いから、できるだけ通いやすい講座日程に調整を行いました。

受講料・連続受講割引

- 開講:6/1(日)
- 場所:工学院大学 新宿キャンパス

卒業年に一発合格を

step 1 一年生対象
インターネットによる自宅学習

1学年: 準備講座 Web

建築のための数学
建築に必要な数学の知識取得を目的に学習(集合又はWeb)を行います。
■ 構造で使う数学(力のモーメント)
■ 法規で使う数学(天井高)など

構造 ①
建築に必要な力学について学習します。
■ 反力とは
■ 静定ラーメンなど

学習時間の目安
■ 期間 6月から3月
■ 回数 11回(90分)
■ 目安 2週間に1回(2時間)の学習
■ 同窓会特別支援価格: 4,000円

step 2 二年生対象
インターネットによる自宅学習

2学年: 基本講座 Web

構造 ②
建築構造の概要から建築材料までの内容を学習します。
■ 応力とは
■ 建築材料
木材・金属・コンクリートなど

法規
建築基準法の概要から建築制限などを学習します。
■ 建築士法と業法
■ 容積・高さ制限など

学習時間の目安
■ 期間 6月から3月
■ 回数 24回(90分)
■ 目安 1週間に1回(2時間)の学習
■ 同窓会特別支援価格: 5,000円

step 3 三年生対象
インターネットによる自宅学習

3学年: 実務講座 (プレアカデミック) Web

計画
建築計画の各論から、建築設備などを学習します。
■ 住宅・集合住宅
■ 消火・防災設備など

施工
施工準備から、仕上げ工事までの内容を学習します。
■ 施工計画
■ 内装・断熱工事など

学習時間の目安
■ 期間 10月から3月
■ 回数 36回(90分)
■ 目安 1週間に1回(2時間)の学習
■ 同窓会特別支援価格: 10,000円

step 4 四年生対象
インターネットによる自宅学習と、卒論・設計提出前の10~11月に集中講義、及び卒業後の全国にある170校への通学講座(210,000円税別)が含まれます。

4学年: 2級問題解説講座 (アカデミック) 通学

受験準備力学
建築に必要な力学の断面的性質と応力についての基礎を学習します。
■ 断面的性質と応力
■ 静定トラスなど

受験準備法規
建築基準法の構成や用語から、基礎的な内容を学習します。
■ 基準法のしくみ
■ 高さ制限など

学習時間の目安
■ 期間 10月から3月
■ 回数 14回(90分)
■ 目安 1週間に2回(2時間)の学習

2級問題解説講座
4科目の総まとめと本試験と同様の模擬試験を行います。
■ 各科目のまとめ
■ 模擬試験と全国統一模擬試験など
卒業した後の通い講義も含まれます。

3月から最寄りの日建学院へ
※通学で弱点補強を行い、合格へと導きます。
■ 同窓会特別支援価格: 36,000円
(Web 講座+大学における講義+卒業後の通学講座を含む)

※講座内容は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

講座に関するお問合せ 日建学院コールセンター ☎0120-243-229 株式会社建築資料研究社 東京都豊島区池袋2-50-1

同窓会に関するお問合せ 工学院大学建築学部 鈴木研究室 Tel. 03-3342-1211 (代)

25年度 1級建築士合格学校別ランキング3位 <全国建築系学校約220校中>

学部卒業年度に2級建築士になることは1級建築士合格に断然有利!

この講座は、工学院大学の授業進行に合わせて、**建築に必要な「建築のための数学」や「力学の基礎」から、毎年<1年生から受講可>、少しずつ知識を習得できるよう無理のない学習プログラムになっています。**この講座を受講して、卒業年に2級建築士学科試験の一発合格を目指しましょう。これが最も早く、1級建築士合格につながることであります。

諸先輩方につづけ!!

過去、この講座を受講して**2級建築士に合格(受験合格率66%)した先輩方**のうち、**1級建築士合格者の平均合格率は60% <25年度総合合格率12.7%>**です。

お申し込みは、同窓会ホームページ (<http://niche-almuni.com>)にて簡単に手続きができます。

お申し込みは、同窓会ホームページ (<http://niche-almuni.com>)にて簡単に手続きができます。

<主催> 工学院大学建築学部同窓会 <協賛> 工学院大学オープンカレッジ Tel. 03-3340-1457

<主催> 工学院大学建築学部同窓会 <協賛> 工学院大学オープンカレッジ Tel. 03-3340-1457

6 同窓会関係

同窓会会長 ごあいさつ	NICHE Topics	新刊書紹介
6	8	10

12 特集 “世界に羽ばたけ！”

日本初！ 工学院大学建築 学部イギリスハ イブリット留学	ハイブリット 留学とは	専門科目	カンタベリー での生活
ミラノ工科大学 との国際交流 2011～2013	プレミオ・ コンパッソ・ ボランテとは	地域施設計画 建築セミナー 13 環境生態学 建築都市保存調査演習	ホームステイ体験 イギリス食事情を楽しむ レストランガイド 学生報告会
長澤 泰	マルコ・インペラドリ	鈴木 敏彦	寄稿 11 題
		16	

20 NICHE Interview

医療建築の パイオニア 伊藤喜三郎建築 研究所を率いて
伊藤喜三郎建築研究所 代表取締役社長 原 勇次
20

24 近代建築を支えた建築家の系譜

輝かしく 先輩たち⑮ 佐藤信次郎	フロンティア の建築家 新山平四郎	尾辻国吉の 台湾に おける事績
類洲 環	平井 充	蔡 龍保
25		

目次は NICHE mook01 と共通。
色を濃くマークしてあるブロックが NICHE ダイジェストの目次。
mook01 NICHE mook01 に掲載の意。

建築デザイン特論

つながりながら 成長する社会を 目指して
ランドスケープ・プラス 平賀 達也

28 NICHE PASSPORT

歴史街に 寄りそう 街、ローマ	アメリカ 2 都市の美術 館を巡る旅	マダンを通 して韓国の 心に触れる
八嶋 一志	岩澤 美帆	康 あんな
		30
多様な 都市文化を 巡る旅	環境先進国 スウェーデンと デンマークのま ちづくりを学ぶ旅	ドイツ・ イギリス バスの旅
久保田 慈子	関野 栄祐	原口 彩

32 NICHE LETTER

設計の段取 りを活かす 料理の仕事	建築と 写真と 建築と	スウェーデン ヒルズゴルフ 倶楽部	仕事色々
HOME フルタ ヨウコ	中田 聡一郎	シートー建築士事務所 代表取締役 笹栗 達夫	COTONA 代表 クリマデザインディレクター 片岡 照博
33			

36 NICHE GALLERY

照明デザイン 新宿イースト サイドスクエア	山形 エコハウス	2013 年 復興計画 自力建設の実例	コダチノイエ
sola associates 三井 敦史	建築設計一級建築士 / 建築師 持田 正憲	国際復興 NGO FoE Japan 代表理事 石田 信男	伊藤 潤一
37			

40 退任のごあいさつ

また会う 日まで
宇田川 光弘 谷口 宗彦 吉田 倬郎
40



同窓会会長 ごあいさつ

新たな同窓会の発展を求めて

一般社団法人 工学院大学 校友会
建築学部同窓会会長

澤崎 宏

工学院大学 建築学部同窓会の皆様におかれましては、益々ご清祥のことと存じます。

社団法人 工学院大学 校友会 建築学部同窓会は、一般社団法人として新たにスタートして約1年を迎えようとしています。

私は、新会長として着任してから、様々な試みを提案しています。

1 NICHEは、変わります

同窓誌NICHEは、2冊に分けて発行します。1冊は、その年度に企画した内容を、特集として充実をさせ、記録に残せるようにムックの

出版を致します。

2冊目は、ダイジェストです。ムックの概要と同窓生への情報に特化した内容で発行します。

この事業を展開するために「NICHE出版会」を立ち上げ、同窓生や教員の著書、作品集などをサポートする体制を整えたいと思います。

また、ホームページをリニューアルし、同窓生が必要な情報をタイムリーに提供したいと思います。(http://niche-almuni.com)

2 同窓生が参加しやすい交流事業を展開

「工手学校ー日本の近代建築を支えた建築家

澤崎 宏 Hiroshi Sawazaki

1957 東京都大田区 生まれ

1981 工学院大学 工学部建築学科 卒業(山下研究室)
株式会社計画・環境建築／YAS 都市研究所 入社
建築家 木島安史、橋本文隆に師事

2000 同社代表取締役東京事務所長

2004 同社代表取締役社長

2008 工学院大学 非常勤講師

2009 東京都建築士事務所協会千代田支部 支部長



の系譜」で紹介された建築家の足跡を辿る台湾ツアーや講演会など、我が校にふさわしい企画を展開します。

また、多くの同窓生が勤務する企業内での単位同窓会を多く立ち上げ、ネットワークによる交流を図りたいと思います。さらに、海外に働く同窓生との情報伝達のしくみも考えたいと思います。

3 持続可能な同窓会運営を図る

まずは、財政の再建です。現在、会費制度の見直しを図っています。NICHEを、すべての同窓生に配布してきましたが、今後は簡易版を配

布したいと思います。これまで会費・寄付を頂いた方にはムックをお届けします。また、寄付行為の手法も検討し、各種事業展開に役立てようと思います。

このような事業企画を通じ、工学院大学建築学部の国際的な知名度を上げ、母校の発展に繋がれようと思います。

最後に、建築学部同窓会が大きく発展し、グローバル社会に貢献する一助となることを願ってやみません。

皆様、よろしくお願い申し上げます。

NICHE Topics

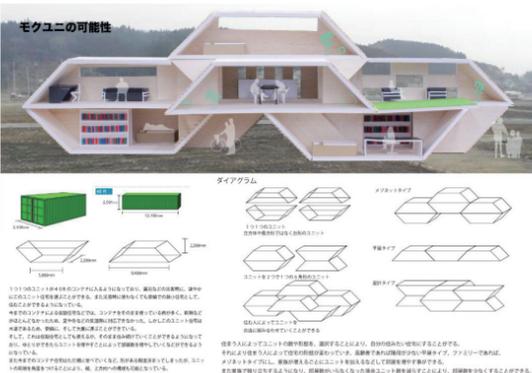
2013 年度の話題

02 夢の賃貸住宅学生コンテストで最優秀賞とセキスイハイム賞

PM夢の賃貸住宅学生コンテストで西尾甚一（谷口研究室）が「彩 緑 農 都～人が彩る都市の情景～」にて最優秀賞。木名瀬新（中島研究室）が「モクユニの可能性」にてセキスイハイム賞。（2013年11月7日）



「彩 緑 農 都～人が彩る都市の情景～」西尾甚一(谷口研究室)



「モクユニの可能性」木名瀬新(中島研究室)

01 東京デザイナーズウィークにて工学院大学がグランプリとエイブル賞をダブル受賞

第1回ASIA AWARDS学校作品展にて、建築学部建築デザイン学科木下研究室が「ゆるる輪郭」でグランプリと株式会社エイブル賞をダブル受賞。コンセプト「私たちの知る建築は強く堅牢だ。私たちに柔らかい建築をつくることは可能だろうか。これは光を透過し風にそよぐ建築である」(2013年10月26日～11月4日)

参加メンバー
伊東孝文、井之川翔太、久保祐輔、中島佑二、横坂真衣、小野晃次郎、塚中智博、河辺真、福高健司、石田章人、伊藤真子、曾田圭、川田裕、佐藤創一、高木亮輔、高橋啓、三堀弘二、渡邊佳貴、川合達香、桐生真典、小池萌子、高柳拓也、宮内智也



03 住宅課題賞2013にて金田賞

東京建築士会の住宅課題賞2013にて川田裕（木下研究室）が「都市居住(都市機能を併設させた新しい集合住宅のかたち)」で金田賞を受賞。（2013年10月19日）

04 第1回空気調和・衛生工学会特別賞リニューアル賞

竹中工務店大阪本店設計部設備グループ長の粕谷敦さん（工学院大学大学院工学研究科建築学専攻）が、梅田センタービルの全館空調リノベーションにおいて、「第1回空気調和・衛生工学会特別賞リノベーション賞」を受賞した。

05 日本都市計画学会「2012年度国際交流賞」を受賞

長年にわたって都市計画の国際的交流に携わり、海外諸国との交流並びに啓発普及と人材育成に貢献した者を表彰する国際交流賞を倉田直道教授（建築学部まちづくり学科）が受賞した。（2013年5月24日）

06 十代田昭二先生 4月27日にご永眠

十代田昭二先生（享年86歳）は、2013年4月27日にご永眠された。家族葬が執り行われ、ご遺骨は目黒サレジオ教会に納められた。6月28日に卒業生たちが「偲ぶ会」を横浜インターコンチネンタルにて催した。先生への感謝を添えて皆様にご報告する。

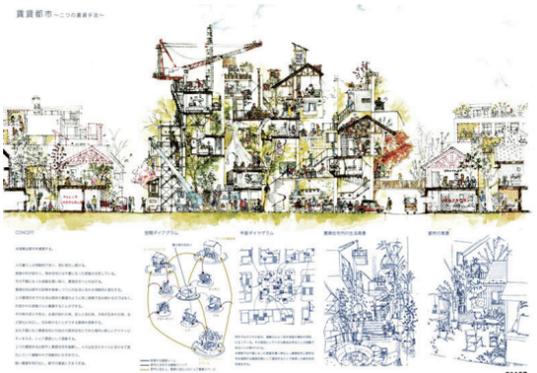
08 山下司名誉教授 叙勲祝賀会を開催

平成25年度春の叙勲で瑞宝中綬章を授与された山下司先生（工学院大学名誉教授）の栄誉を記念すべく、2013年7月27日、工学院大学において祝宴を開催した。



07 第2回大東建託賃貸住宅コンペでグランプリ受賞

応募数557点（応募登録1,216件）の中から2014年1月15日に1次審査会が行われ、1次審査通過6点と入選8点、学生特別賞10点が決定。2月1日公開2次審査が行われ、佐藤浩介君（谷口研究室研究生）と加藤直樹君（谷口研究室、現清水建設設計部）の案が最優秀賞（賞金300万円）を受賞した。



「賃貸都市～二つの賃貸手法～」佐藤浩介、加藤直樹

09 1級建築士合格者 大学別ランキングで3位に躍進!

国土交通省から、2013年度1級建築士試験「設計製図の試験」の合格者が発表された。本学出身の合格者は102名。学校別合格者数では全国第3位。7月に実施された学科試験と合わせると、今年の1級建築士試験は、実受験者数31,704名、合格者4,014人、合格率は12.7%を記録した。

平成25年 1級建築士合格者上位大学					
1位	日本大学	212名	6位	早稲田大学	62名
2位	東京理科大学	130名	7位	東海大学	60名
3位	工学院大学	102名	8位	明治大学	57名
4位	芝浦工業大学	96名	9位	法政大学	55名
5位	近畿大学	90名	10位	中央工学校	53名

2013年度1級建築士試験「設計製図の試験」学校別合格者数 出典：財団法人建築技術教育普及センターより

新刊書紹介

同窓生や建築学部の教員など関係者が執筆した新刊書の一部を紹介

設計する身体をそだてる

考えを伝える図面の技術



木下庸子(建築学部教授)、宇佐見清、松本文夫

彰国社
92ページ
2,300円+税
2013年4月30日
B5判

図面をたくさん手描きしていた時代には、スケール感や図面の表現力はおのずと身についたが、現在はコンピュータに頼ってばかりいる。自分で考え、設計者としての伝達力、観察力、思考力は図面化する作業の積み重ねを通して深まる。設計する身体をそだてるため、図面の基本から設計の入り口までを解説し、CADをツールとして用いる方法を説く。

芝増上寺境内地の歴史的景観

—その建築と都市的空間—



伊坂道子(大学院博士後期課程修了、工学博士)

岩田書店
336ページ
8,800円+税
2013年10月
A5判

増上寺は約600年前に創立された江戸三大寺院の一つである。都心の市街地における近世初期の大規模建造物として偉容を誇る。2009年の博士論文「建築と都市の歴史からみた増上寺と芝公園の研究」をもとに、その後の新たな知見について加筆した。戦後の市街化が著しい東京に、江戸の記憶が多く残っていることを、旧境内の悉皆調査と過去の記録から明らかにした。

家の図鑑



田島則行(工学院大学卒/AAスクール大学院/千葉工業大学助教)、村山隆司(大学院修了)他

エクスナレッジ
192ページ
1,600円+税
2013年10月31日
A5判

日照条件、周辺環境、高低差、近隣との関係はそれぞれの家ごとに異なる。しかし敷地のポテンシャルを最大に引き出すことによって、美しく住みよい住宅が出来上がる。リビング、水回り、子供部屋、外構、玄関、採光、家具などを豊富な写真と解説で紹介している。図鑑のようにページをめくり、家ごとに異なる個性を眺めているだけで楽しめる一冊。

ローカルファーストが日本を変える

茅ヶ崎から新しいライフスタイルの提案

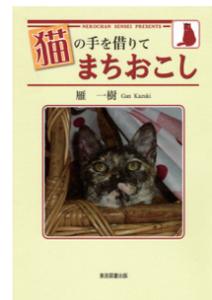


澤崎宏(工学院大学卒)共著、ローカルファースト研究会

東海大学出版会
220ページ
1,800円+税
2013年12月20日
A5判ワイド

これから超高齢社会をむかえるにあたり、地域社会をどのように形成していくべきか。「ローカルファースト」とは地域貢献・地域還元を通じて豊かな街や国の構築を目指す考え方である。サンフランシスコ、ポートランドの海外事例や、茅ヶ崎で実践する食、住まい、イベントなど様々な事例を通じ、その地域ならではの豊かなライフスタイルとマネジメント方法を読み解く。

猫の手を借りてまちおこし



雁一樹(岩藤一樹/大学院修了)

東京図書出版
250ページ
1,200円+税
2013年12月15日
B6判

「この国の再生は、我々猫にまかせろ！」ネコちゃん先生がこの国の未来を大胆に予測した。2012年11月から翌年9月までにつづったブログ「爺さん、婆さんの家に、京都から猫がやってきた」の記事に加筆し、一冊の書になった。猫を飼おうとしている人や、夫源病と罵られる世代には必読の書。まちおこしの専門家である筆者の優しく暖かい気持ちが入り込んでいる。

日本建築集中講義



藤森照信(工学院大学教授) × 山口晃(画家/東京芸大大学院修了)

淡交社
283ページ
1,900円+税
2013年8月6日
A5判

センセイ役に路上観察眼を持つ建築家・藤森照信氏、聞き手に平成の絵師・山口晃氏。この二人が日本各地の名建築13件を見学して、時に大マジメに、時にユーモアたっぷりに、建築の魅力語り合った。対談とエッセイ漫画では二人の変わった目のつけどころから、伝統建築の魅力が浮き彫りになる。現場で議論する二人の会話に立ち会ったような臨場感が味わえる。

ニッポンの名建築を旅する

建築探偵藤森照信の視点。



藤森照信(工学院大学教授)

交通新聞社
128ページ
1,200円+税
2014年1月4日
A4判

建築探偵、藤森照信の視点。全国の近現代建築100カ所の見どころを紹介している。2005年5月号から2009年4月号の会員誌「ジバンク倶楽部」に掲載した「ニッポンの名建築を旅する」の取材記事が一冊にまとまった。例えば開国・明治編では北海道庁本庁舎、大正・昭和戦前編では頭ヶ島教会、戦後・平成編では青森県立美術館がある。日本建築を通じて近現代を学ぼう。

イギリスのカントリーサイド

人と自然の景観形成史



オリバー・ラッカム 翻訳 篠沢健太(工学院大学准教授)他

昭和堂
653ページ
7,500円+税
2012年12月25日
A5判

生態学者オリバー・ラッカム氏の「The History of the Countryside: The classic history of Britain's landscape, flora and fauna」の翻訳書。イギリスの絵本のような美しい風景はいつどのように形成されたのか。カントリーサイドでは多様な自然環境、複雑な歴史の重層、その記録「文書」が残されている。風景を読み解き、文明史をひも解く楽しさを味わおう。

建築プロダクトデザイン

(暮らしを劇的に変えるモノと空間の設計思想)



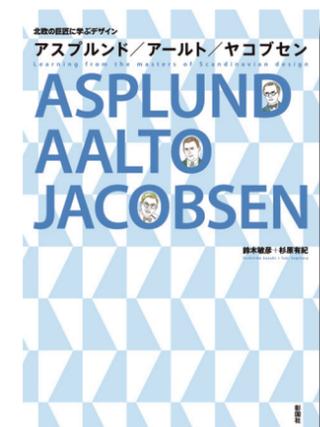
鈴木敏彦(工学院大学教授) 講談社

160ページ 3,200円+税 2013年4月10日 B5判

プロダクトと建築のあいだには暮らしを楽しむヒントがある。長い間、人々は空間を持ち運び有効に使う方法を探ってきた。歴史をひもとけば、ルイヴィトンの旅行鞆に収まる折り畳み式ベッドに始まり、プラーの移動住宅、ブルーヴェのプレファブリケーション、黒川紀章の中銀カプセルタワービルといった事例がある。鈴木が提唱するモバイルアーキテクチャーと建築家具にはフレキシブルな仕組みが満載だ。コラムではレンゾ・ピアノやアンジェロ・マンジャロティ等の取り組みを紹介し、建築家がプロダクトをデザインする方法を明かしている。

北欧の巨匠に学ぶデザイン

アスプルンド／アールト／ヤコブセン



鈴木敏彦(工学院大学教授)、杉原有紀 彰国社

125ページ 2,800円+税 2013年5月10日 B5判

スウェーデン、フィンランド、デンマークを取材し、建築とデザインに興味を持つ読者を対象に書き下ろした新刊。北欧デザインはいかにして創られたのだろうか。年長のアスプルンドを手本に、アールトは彼と友情をはぐくみ、ヤコブセンはアスプルンドの成果をリデザインしていった。3人の巨匠は各国の自然環境との独自の距離をはかりつつ、建築、インテリア、プロダクトを手掛けた。その結果、現代の生活の基盤となる緑豊かな都市生活が生まれた。写真とイラストが理解を深め、巻末のガイドマップが北欧建築めぐりの旅へ読者を誘う。



日本初！ 工学院大学建築学部 イギリス・ ハイブリット留学



授業は日本語、生活は英語というハイブリッド環境による4.5ヶ月間の英国留学を開始した。最大の特徴は、日本の専任教員が実施する建築の授業を英国カンタベリー市の提携校であるワーンボロカレッジにて受講し、日本同様に単位を取得することだ。



mook 01

ハイブリット留学とは 長澤 泰



専門科目

2013年	デザイナーバイ	倉田直道
9月9日～13日	環境生態学	篠沢健太
9月23日～27日	建築都市保存調査演習	中島智章
10月14日～18日	建築デザインセミナー	藤木隆明
10月28日～11月1日	建築設計論 A	木下庸子
11月18日～11月22日	地域施設計画	長澤泰
12月2日～12月6日		



mook 01

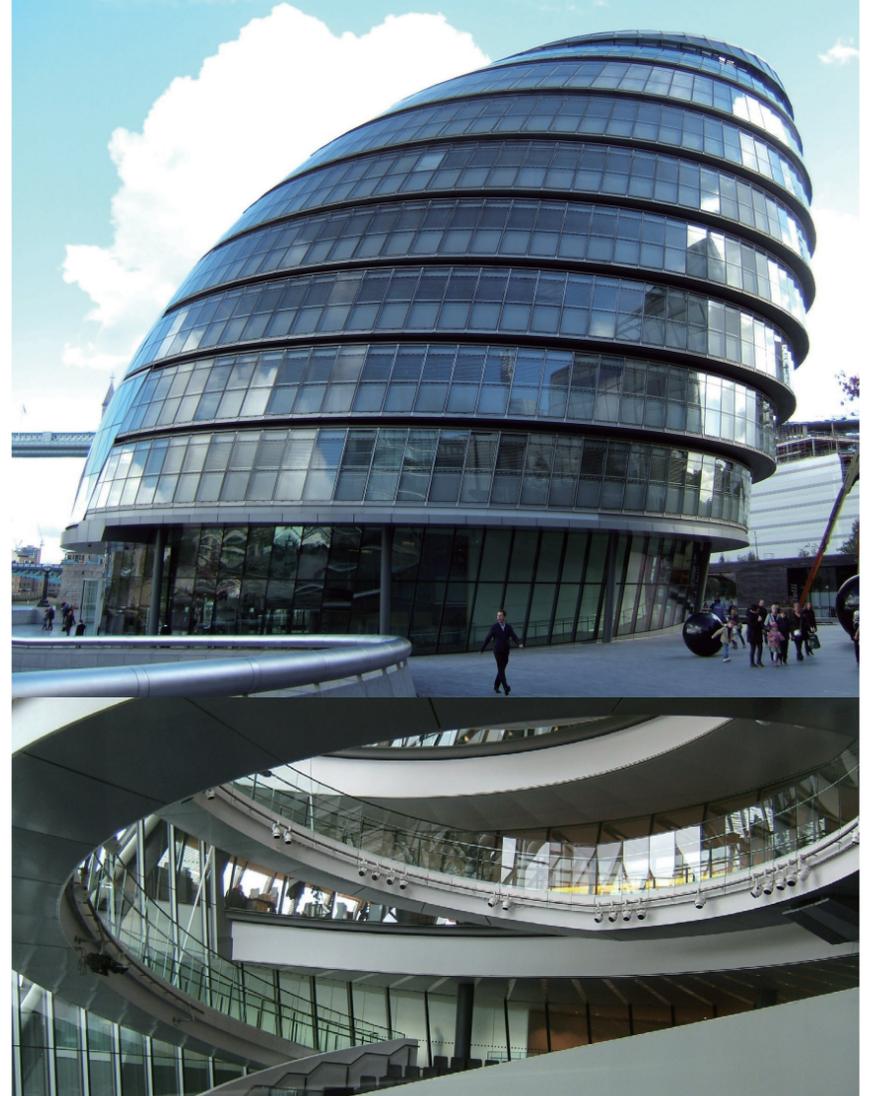
カンタベリーでの生活

ホームステイ体験	中村文
イギリス食事情を楽しむ	片桐悠太
レストランガイド	片桐悠太
学生報告会	

特集

建築セミナー

藤木 隆明



上 ロンドン市庁舎外観
下 ロンドン市庁舎内観

はじめに

セミナーとは、本来、学生が所属する研究室毎にそれぞれの専門領域を深めるような学習や演習を行うものであるが、ハイブリッド留学の場合、全ての教員がカンタベリーに教えに行く訳ではないため、私の専門である建築デザインを中心にしつつ、できるだけ幅広く、しかもイギリスで教育を行うメリットを最大限に生かせるような内容となるように心がけた。

今回行った「建築セミナー」の骨子は次のような内容である。

- 1) 環境建築に関する講義
- 2) 環境建築の実例見学（ロンドン）
- 3) イギリスにおける建築教育の体験（AAスクール）
- 4) ロンドンで見えておくべき近代建築の

名作と最先端建築の見学

建築セミナーの概要

以下、今回のハイブリッド留学で行った「建築セミナー」の概要について、上で述べた骨子に沿いながら簡単に報告したい。

1. 環境建築に関する講義

私は建築の設計を専門としているが、特に21世紀にふさわしい建築を目指して、様々な分野とその境界領域に足を踏み入れている。そのひとつが「環境建築」である。また、セミナーで扱う内容として、幅広い分野に関係する「環境建築」は最もふさわしいものと考えた。時間の関係上、自然エネルギーを活用する為のデザイン手法である「光のデザイ

ン」と「風（空気の流れ）のデザイン」を中心に講義した。

2. 環境建築に関する実例見学

環境建築に関する実例として、まず最初に「ロンドン市庁舎」を訪れた。「ロンドン市庁舎」は、ノーマン・フォスター卿の設計で、卵が南に向かって迫り出したようなユニークな外観が特徴である。この独特な形態は、太陽からの熱負荷をできるだけ軽減するための考慮から導かれたものである。

全面がガラス張りであることから示されているように、市民に開かれた市庁舎を標榜しており、議場のある2階から最上階の展望室まで緩やかなスロープで結ばれている。以前は、最上階の展望室が市民に開放されていたようであるが、



BedZED 見学



AA スクール外観

安全上の理由からか見学に訪れた日は上まで上がる事ができず残念であった。

この他、希望する学生だけを連れて、もうひとつ環境建築として重要な施設を見学した。ロンドン郊外に建つ「ベディントン・ゼロ化石エネルギー住宅団地」(BedZED)である。運良く設計者であるビル・ダンスター氏にお目にかかり直接お話を伺うことができた。

3. AAスクールの授業見学

世界で最も有名な建築学校をひとつ挙げるなら、ロンドンにあるAAスクールであろう。いわゆる大学とは異なるが、著名な建築家を数多く輩出している。学生が優秀であることは間違いないが、これだけ多くの世界的建築家を輩出できるのは、やはり校風というか、その場の

“空気感”に秘密があるに違いない。その様に考えて前々から一度授業をのぞいて見たかったのだが、現在AAスクールの教員をされている建築家の島崎威郎先生のご好意で案内していただくことができ、私自身にとっても念願が叶った思いであった。学生達のレポートを読んでも、一番印象に残った見学先としてこのAAスクールを挙げた学生が多かった。日本の、例えば、工学院大学の教育とは何が異なっているのだろうか。私が感じた第一印象は、価値観あるいは目指しているものの多様性とその振れ幅が大きいことだった。異なる価値観を持つ者が、しかし同じ空間を共有して自らの作品を生み出してゆく。その多様性と創造性の幅の大きさが、AAスクールの強みののだろう。

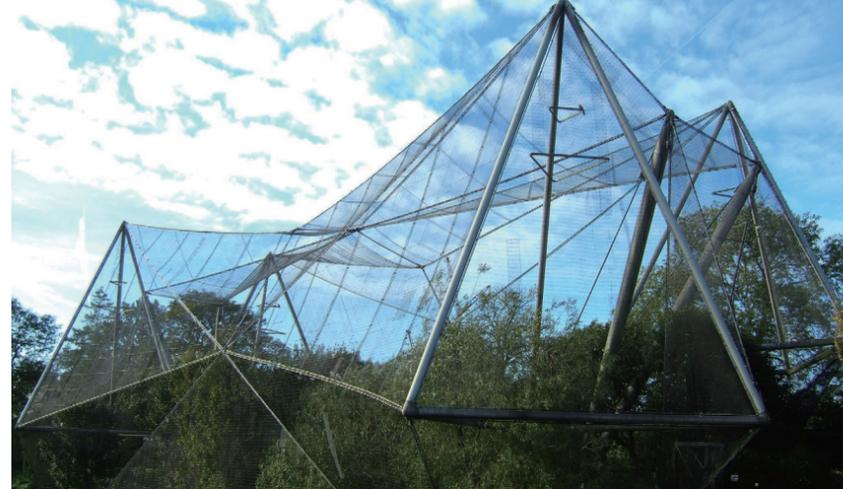


優秀作品の説明
(写真左が AA スクールの島崎威郎先生)

もうひとつは、徹底的に議論すること。1年生のスタジオを見学した際も、学生よりも数が多いのではないかとと思われる程大勢の先生達に囲まれて、必死にプレゼンテーションしていた。国籍も文化も異なる者同士が1カ所に集まり、自分の目指す建築について議論し合う。建築は勝ち負けではないが、議論を積み重ねていく過程で必然的に自分の価値観が鍛えられ、研ぎすまされて行く。日本の学生が教育を受ける時の態度があまりにも受動的なのとは対照的な熱気を感じて有意義であった。

4. ロンドンの建築見学

この他、ロンドンで見ておくべき建築をいくつか見て回った。そのひとつがロンドン動物園である。ロンドン動物園の



ロンドン動物園大鳥籠外観



ロンドン動物園ペンギンプール



Loca London Gallery 内観



Loca London Gallery 外観

歴史は古く、初期の段階から施設の多くを一流の建築家に依頼してつくられている。私が特に重要だと考えるのは、スノードン卿に協力してセドリック・ブライス (AAスクールで教鞭をとっていた) が設計した大鳥籠と、コンクリートの可能性を見事に示したペンギンプールである。ペンギンたちは別の場所に移されていたが、モダニズム建築が輝いていた頃の優美な姿を今も湛えていた。

もうひとつは、ザハ・ハディド (こちらもAAスクール出身) の設計した「Loca London Gallery」。流体的デザインの第一任者であるザハの真価が遺憾無く発揮されていた。

最後に

実を言うと、私が学生の頃には留学に

はあまり関心を持っていなかったのだが、今になって考えると、あのとき何故留学しなかったのか非常に悔やまれる。その意味で、本学のハイブリッド留学は、いわば本格的な留学の前の助走期間を提供しているとも言える。今回参加した学生の中から更なる留学に進む人たちが出てきてくれる事を願っている。



藤木 隆明 Ryumei Fujiki

1984 東京大学大学院 修士課程修了
1984-1990 株式会社坂倉建築研究所
1994 東京大学大学院 博士課程修了
2001 工学院大学 助教授
2008 工学院大学 教授



ミラノ工科大学 との国際交流 2011～2013



特集

プレミオ・コン パツソ・ボラン テの3年間を振 り返って

工学院大学建築学部

鈴木 敏彦

はじめに

工学院大学は2011年にミラノ工科大学と国際協定を結んだ。あれから3年、コンパツソ・ボランテに本学から参加した学生は通算30名にのぼった。

ぼくがマルコと知り合ったのは10年前にさかのぼる。ある国際設計コンペに応募した時に審査員だった彼が、僕の作品を覚えていて、東京に来る時に突然電話をしてきた。彼が編集している本に僕の作品を載せたいと言う。事務所を訪ねてきた彼を焼鳥屋に連れていくと、お互いにワインが好きなこともあって、すぐに意気投合した。そして大学間の協定にも話が及んだ。実は、このような個人的関係が国際交流を実質的に運用する決め手となる。一般に大学間協定は、学長名で契約する。しかしそこに実質的な担当者が不在の場合は、協定だけで実態がないことが多い。工学院大学の協定書のフォーマットも同様のフォームでできていた。しかし、ミラノ工科大学には、コーディネーター名という欄が用意されていて、実質的な担当者の記載が求められた。そして、マルコとぼくがそれぞれの大学のコーディネーターとなって本交流ははじまった。



レッコは人型のコモ湖の右足あたりに位置する。ミラノから車や電車で約1時間の距離にある。



2等賞：「BEM ESTAR」
Veronica Cogliati / Vincenzo De Gregorio / Mattia Andrea Rio / 建築学専攻修士2年 長谷川公彦 / 加藤学 / 建築学科4年 山本晃平

2011年

2011年5月に学生13人を連れてミラノ工科大学のレッコ校舎を訪ねた。ミラノ工科大学のチームに工学院大学の学生が数人ずつ混じり、ポルトガルのヴィラヴィソーザに建設するスパ施設（ウェルネスセンター）のアイデアを議論し始めた。学生たちが身振り手振りを交えながら、アイデアを伝えようとしていた姿が印象的だった。ミラノの学生がパソコンを開いているのでのぞきこむと、グーグル翻訳でイタリア語から日本語に単語を訳していた。お昼にはミラノの学生の案内で、レッコの湖の傍にピクニックに行き、夜は親睦ディナーを楽しんだ。翌日はミラノ市内でアッキレ・カスティリオーニのスタジオやスフォルツェスコ城を訪ねた。帰国後、学生たちはアイデアを交換したり、CGのレンダリングを分担したりして、工学院大学の学生が参加したチームは見事、2位と3位に入賞した。エンジニアが強いミラノの学生に、デザイン面で工学院大学の学生が貢献できたことを確信した。



3等賞：「Break Water」
Elisabetta Azzolini / Elisa Beretta / Fabiola Cerri / 建築学専攻修士1年 渡邊聖子 / 建築都市デザイン学科4年 石田貴大 / 二村玲

2012年

2012年は、工学院大学の学生だけでチームを組むことになった。僕のプロダクトデザイン特論を受講した15名の大学院1年生が5チームを作った。テーマはミラノ市ブレラ地区にスマートアーキテクチャーを建てることだ。ミラノの敷地調査には参加できなかったが、グーグルアース等を駆使して敷地状況を分析した。6月にはミラノ工科大学からアンナ・マンジャロッチェ先生とマンジャロッチェ事務所の建築家である堀川絹江さんが来日し、ウェルカムパーティを開い



mook 01

プレミオ・コンパツソ・ボランテとは
マルコ・インペラドリ



プレミオ・コンパツソ・ボランテの3年間を
振り返って

鈴木 敏彦



mook 01

寄稿 11 題

1. 空飛ぶコンパスとマカオの文化遺産 ホセ・ルイス・デ・サレス・マルケス
2. バレルモ大学とコンパツソボランテ アントニオ・デベッキ、シモーナ・コラヤニ、エルサ・サンフィリポ
3. IN 8 (2013年一等賞) ビエールパオロ・アバンツィ、マイネッティ・エンリコ、マッテオ・ペドラナ
4. link (2013年佳作) ファビオ・マリノ、ヴァレリア・ルッパ、カロジロ・スカルディーナ、ジュゼッペ・マリネッロ
5. プレミオ・コンパツソ・ボランテの審査員の立場から 橋本しのぶ
6. 持続可能なデザインプロセス ガブリエレ・マゼラ
7. 外国から見た日本建築の時間に関する一考察 マリア・ノボジロバ
8. 国際性と学際性 杉原有紀
9. 「どのように英語にアプローチするか」についての一見解 マイケル・カーニー
10. コンパツソ・ボランテ後の就職活動 久保裕輔
11. スイス建築めぐり 山口大樹



2011年5月10日朝8時、ミラノからレッコへ向かうバスの中、「頑張るぞー！」

た。学生たちはイタリア語の挨拶を通じ、渡航の心構えができたようだった。

7月には英語での発表会を終えたが、実際に学生たちが本気で取り組み始めたのは9月になってからだった。コンペ案の詰めに加え、英語のプレゼンテーションの準備と、海外渡航の準備でてんでこ舞いになっていた。コンパッソ・ボランテで初めて海外に行く学生も半数以上いた。10月になり、飛行機からバスに乗り換えてレッコについた時、予想外の寒さに皆がふるえていた。山と湖に囲まれた土地では空気が新鮮で、そして学生にとっては何もかもが新鮮だった。

翌日、ぼくの研究テーマである被災地のためのダンボールシェルターを、ミラノ工科大とシンガポール工科大、工学院大学の学生が入り混じったグループごとに新たに設計するワークショップが始まった。朝9時から夜5時まで彼らは鉛筆とカッターを片手に、あれやこれやと取り組んでいた。日本では2011年の東日本大震災、イタリアでは2009年のライクラ地震が記憶に新しい。建築家は被災地で何が出来るかを常に考え、設計を通じて貢献したいと考えている。その気持ちを共有した。ミラノ工科大の学生が一番見事なハウスを作った。彼らはまた翌日の表彰式でも1位に入賞した。

工学院大学からは井之川・伊東・久保・チームが2位に入った。努力が報われたチームも、また入賞に至らなかったチームも、それぞれ得るところがあった

と思う。ミラノでは、ガレリア内のアーバンセンターにて「プレミオ・コンパッソ・ボランテ」展が開催された。

この年は11月に東京でISATがあり、マルコが来日した。講義の最後に各チームへの講評があり、改めてコンペの意義と自分たちの作品について考えることが出来た。



ダンボールシェルター鈴木敏彦賞は、ミラノ工科大+シンガポール工科大チームに贈られた。選定理由は、「縦では着替え、横にするとマットで寝ることができる。曲面を作るのに、竹のような節を作って強度を出したのが良かった」



2等賞：「Culture park」
建築学専攻修士1年 伊東孝文／久保祐輔／三浦翔太
プレゼンターは、審査員で卒業生の建築家、橋本しのぶさん



2012年10月11～19日、ガレリア内のアーバンセンターにて、「プレミオ・コンパッソ・ボランテ」展が開催された。

2013年

3年目は春の敷地調査から参加する運びとなった。募集期間が短かったため、院生1名、学部生5名で2チームを組み、うち4名が3月末にマカオへ渡航した。

敷地はコアネ島の舟倉庫の跡地だ。実際に歩いてみると地の利がわかる。ポルトガルと中国、双方の歴史を受け継いだマカオの街並みを歩き、レクチャーを通じて敷地の情報を頭に入れた。

4月からコンペ案に取り組んだが、学生たちの進捗状況を見ていると、部分的なアイデアはあるが、ばらばらで骨格が見えなかった。もっと全体を支配するような強いコンセプトを構築するように指導した。

折しも5月から8月にミラノ工科大学のマルコ研究室からクリスティーナ・ブシェドウが来日し、ぼくの研究室に所属することになった。週2日は大学の授業やゼミに参加し、残り2日はぼくの事務所で博士論文の研究を進めた。彼女のテーマは黒川紀章のカプセルタワーのり



2013年10月2日シチリア島パレルモにて。カテドラルの前でジャンプ！
左から川合通香、伊藤真子、飯田昂平、鈴木敏彦、渡辺隼、佐藤創一

ノバージョンだ。事務所でコンペ案の進捗を見る時、クリスティーナも参加して各チームにアドバイスを与えていた。英語を話す留学生の存在は、周囲に良い影響を与えた。

9月頭に英語のプレゼンテーションの発表会を開き、コンペ案の最終確認を行った。ゲスト批評にカーニー先生と足立先生と中島先生を呼んで、プレゼンを見てもらった。遅々として完成には程遠い出来だったが、その後9月末にどうにか案を提出した。

9月末のイタリア渡航は暑いパレルモに始まり、寒いレッコに移動し、ワークショップと表彰式で幕を閉じた。ESPEで行った足場ワークショップは、震災時に迅速に組み立てられる避難所を参加校の学生全員で作るものだった。翌日、ミラノ工科大学の新しいレッコ校舎で行われた表彰式では工学院大学からは受賞者は出なかったが、参加することに意義があったと思っている。親睦ディナーでは着物や折り紙といった日本の学生たちのプレゼンテーションが大いに受けだし、なによりも彼らには、イタリア人の友人ができたことが大きい。僕にとってコンパッソ・ボランテとは日本とイタリアを結ぶ橋であり、学生に世界につながる扉を用意することに他ならない。実際、ミラノでの発表後、ほぼ全員が旅程を延長

してイタリア、スイス、ドイツ、フランス、チェコを周遊し、建築や芸術の見聞を広めた。

秋には恒例となるマルコ先生の来日があり、水野学長との会談では英語教育と交換留学の重要性を確認した。同様に日本に一時帰国していた橋本しのぶさんと二人の講演会「イタリア建築セミナー」を開いた。その後、天ぷら屋に場所を移し、マルコ先生、橋本さんと今後の進め方について話し合った。2015年は東京の敷地をテーマに開催するかもしれない。イタリアの皆は日本に来たがっているし、工学院大学もおもてなしの精神を発揮するチャンスだ。



マカオでのGetting Together Dinner
夜の親睦会では、イタリアの学生たちにとっては珍しい中華のフカヒレスープを味わったり、日本から持ち込んだ折り紙をみんなで楽しんだ。折り紙ティーチャーと化した伊藤さんと、パレルモ大学の学生たち。みんな初めて折ったインコを手に嬉しそうだ！

おわりに

工学院大学のコンパッソ・ボランテ参加者には3つの目標を掲げている。

- (1) 国際的な視野を養う
設計コンペを通じて各国の学生と切磋琢磨し、多様性を理解する。そしてグローバルな思考を日本に還元する。
- (2) コミュニケーション力の強化
英語とイタリア語を覚え、話す。間違いを恐れず会話に加わり、コミュニケーションを楽しむ。
- (3) 海外進学、就職の実現
参加者から世界で活躍する人材を輩出する。国際交流はその一歩。

学生時代に外国を知ることはとても重要だ。ぼく自身、17歳の時にロンドン、パリ、ローマの古典建築を巡り衝撃を受けた。その後フランスに留学したのも、海外で仕事をするようになったのもすべてこの時の体験がきっかけとなったと思う。建築を学ぶ学生であれば、まずはヨーロッパを旅してほしい。コンパッソ・ボランテはそのきっかけとなるだろう。ぼくは志の高い学生をこれからも海外に連れ出していきたい。



鈴木敏彦 Toshihiko Suzuki

1982	工学院大学 卒業
1984	工学院大学大学院 修了 黒川紀章建築都市設計事務所
1985	マルヌ・ラ・ヴァレー新都市開発公社(フランス)
1999	早稲田大学 博士過程単位取得満期退学 東北芸術工科大学プロダクトデザイン学科助教 首都大学東京 システムデザイン学部 准教授
2007	工学院大学 建築都市デザイン学科 教授
2010	工学院大学 建築都市デザイン学科 教授
2011	工学院大学 建築学部 教授

NICHE Interview

医療建築の パイオニア 伊藤喜三郎建築 研究所を率いて

伊藤喜三郎建築研究所 代表取締役社長

原 勇次

原 勇次

1973 工学院大学 建築学科 卒業
(南迫研究室)
1975 工学院大学大学院 建築学 修了
(波多江研究室)
株式会社 伊藤喜三郎建築研
究所 入所
1984 設計部課長
1996 設計部長代理
2003 取締役設計部長
2007 代表取締役社長



撮影：文藝春秋

伊藤喜三郎建築研究所は1952年の創業以来、「病院の伊藤」として医療建築のパイオニアの地位を築いてきた。2007年、原勇次氏に社長の白羽の矢が立った。総合設計事務所として創業60年を向かえ、今後の少子高齢化社会にどう対応していくのか。人材育成の取り組みからアジア展開までを聞いた。



聞き手 谷口宗彦 (工学院大学建
築学部建築デザイン学科 教授)
記録 大場光博 (NICHE編集部)

2013年9月13日



東北社会保険病院 (2002年)
ナチュラルリラクゼーションをテーマに、散策路や景色の良いレストランを配置したガーデンホテル

伊藤喜三郎先生との出会い

谷口：工学院時代の思い出をお願いします。

原：谷口先生の助手時代に何度かお会いしています。学部の際は二部に通っていました。卒研で所属したのは南迫研究室でした。南迫哲也先生は囲碁が大好きで「建築空間と囲碁には共通性がある」と言っていました。当時、南迫先生は講師でしたので、大学院は波多江研に進みました。大学院時代はジャンルの異なる本を読んでいる同期たちに大きな刺激を受けました。難波先生の下で実験副手を2年担当し、旧館の地下で鉄筋を引っ張る実験をしました。1975年3月に工学院大学大学院を修了しました。

谷口：事務所に入るきっかけは何でしたか？

原：大学院生だった1974年に、セント

ラルガラス国際コンペで佳作を受賞しました。伊藤喜三郎先生が審査員の1人でした。丁度オイルショックの後で就職難でもあり「来ないか」と声を掛けて戴きました。規模の大きい設計をやりたかったので、入社試験を受けました。同時入社は2人で、もう1人は芝浦工大卒でした。

谷口：私も伊藤喜三郎先生のコンペで受賞したことがあります。1983年に江戸川区南部の葛西沖埋立て地の一画で、小学校2校と中学校1校の設計コンペがありました。清新町では、6,800戸に23,000人が住む、緑豊かなニュータウンを計画していたのを思い出します。公正な審査委員長であったのが伊藤喜三郎先生でした。

医療に必要なのはコミュニケーションとスピード感

谷口：2011年の東日本大震災の際の対応はいかがでしたか。

原：仙台に支店がありますので、東北のお客様も多くいます。震災で被災した病院がかなりあり、復興以前の復旧の段階で耐震診断の依頼を頂きました。同時並行して、ユニセフから被災地に寄付された10カ所の保育園建設のトータルマネジメント業務と、3件の設計監理を行いました。石巻の高齢者施設も設計中で、間もなく着工します。

谷口：現在の事務所の構成をご紹介下さい。

原：意匠、構造、機械、電気といった建築設計と、設計をサポートする品質管理や積算、管理がある総合設計事務所



栃木県医師会温泉研究所附属塩原病院（2008年）
リゾート地の豊かな自然と、豊富な温泉を活かした回復期のリハビリテーション病院



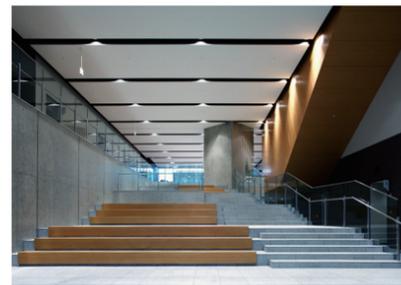
埼玉医科大学国際医療センター（2007年）
患者中心に建築を配置。アメニティコアとしての大きな中庭やメディカルモールも併設



音羽倶楽部（1994年）
小高い丘にある宿泊施設付きの研修所。アースカラーを用いて自然との共生、景観との調和を目指した



野馬追の里原町市立博物館（1995年）
重要無形民俗文化財、相馬野馬追を次世代に伝承する博物館。バリアフリーに留意した



川口市立戸塚スポーツセンター エントランス（2008年）
敷地の高低差を活かして配置。メインエントランスから1、2階を大階段がつなぐ



大連医科大学第二病院教学病棟

です。同時進行中のプロジェクトは60件程度で、所員は140人位です。東京の本社以外に大阪、仙台、九州に支店があります。以前の五反田の事務所の時は、建築系と設備系が2つのビルに分かれていたので、連携が疎遠になりがちでした。昨年、2012年10月1日が事務所創立60周年でしたので、記念事業の一つとして豊島区高田へ移転しました。ワンフロアで全員が仕事のできる体制になりました。私は社長室を廃止して「言いたいことがあればいつでもどうぞ」と社員に意見を求めています。部署を分けるパーテーションを取り除いたところ、社員同士の距離が縮まりました。

谷口：なるほど、ワンフロアの良さが発揮されましたね。

原：予想通り、コミュニケーションが活発になりました。病院の設計では、人、モノ、情報が錯綜しているので、それらを機能面から整理していかなければいけない。規模が大きくなればなるほど、打ち合わせする人も機会も増えます。当然、担当者には人としての対応能力が求

められています。定年は65歳ですが、本人の希望で再契約します。まだまだベテランの知識と経験が必要ですから。医療機器関係は技術開発のスピードが早く、変化も激しい世界です。国の医療施策も年々変化していきます。常に時代の制度に合った施設を作っていく必要があります。

総合設計事務所の人材育成

谷口：業界では「病院の伊藤」と言われています。自社の知名度をどう考えていますか。

原：社長に就任したのが2007年4月ですから、今年で7年目になります。これまでの評判に甘んじずに、ブランド性を高め、病院設計で超一流の会社になることが我々の使命です。病院、福祉、教育といった医療系の分野に仕事集中しており、どちらかと言うと手堅い設計事務所のカラーが出来上がっています。しかし若い人には自由な発想で、気概を持って取り組んでほしいと思います。現在の社員の平均年齢は42歳ですが、もう少

し若くしたいと思っています。

谷口：新人教育についてお聞かせ下さい。

原：スタッフを採用してから教育する必要を感じています。病院設計は単語一つをとっても、大切に特殊なものが多いです。会社のDNA(体質)として、若い所員には確実に一級建築士を取らせると共に、一人の社会人として、恥ずかしくない人材に育成することを心がけています。また、社内教育に力を入れており、大学教授、病院コンサルタント、医師、メーカー技術者に協力して頂いて、将来の病院のあり方や、医療行政の動向、建築の新技術について学んでいます。さらに、学会や協会にも積極的に参加させ、海外研修も行っています。

谷口：今後の医療福祉に対する取り組み方について教えてください。

原：本格的な少子高齢化社会に突入して、2025年までに死亡者が約30万人増えると言われています。特に都市部では、亡くられる方をどこで看取るかが

大きな問題になってきます。昔は自宅で看取ったものですが、家族構成の変化や住宅事情から、現在は病院で亡くなる方が多くなっています。この30万人を病院で看取ると、医療費が8.5兆円増えます。国は社会保障費を削減するために医療から介護への移行を目指しています。医療提供体制を見直し、在宅で介護する地域包括ケアシステムへと変わってくるのです。我々は国の医療政策と社会の流れを読み取り、お客様へ最善の提案をしていきたいと思っています。我が国では人口減少に歯止めがかからない状況です。これは国内マーケットの縮小を意味するので、対応策として海外展開を視野に入れていきます

海外展開と躍進

谷口：具体的な事例を教えてください。

原：国のODA(政府開発援助)の案件が年間1～2件あります。また、民間プロジェクトの場合は、今は基本設計までの業務です。中国では規模の大きいプロジェクトが多く、若手スタッフが大規模

なプロジェクトに参加するチャンスです。中国側にも日本的な病院を作りたいという希望がありますが、商習慣が違うのでやりにくい面もあります。大連のプロジェクトでは間に現地の方をたてて調整をお願いしました。竣工後に建物を見たところ、細かな点で違和感がありましたが、全体としては日本的に仕上がっていました。

谷口：海外の打ち合わせではどんな問題が生じますか。

原：設計を進めていく際に、施設のスタッフとの細かく打ち合わせていくと、いろいろなリクエストが出てきます。しかし、誰がクライアントで、誰がユーザーなのかを冷静に判断しなければなりません。我々は患者やスタッフや見舞客といったユーザーの目線から提案しますが、中国では医師の立場が何よりも優先されます。また、中国では地方からの患者の家族が病院に宿泊する事があります。そのため、日本の病院とはかなり異なるイメージで使われることがあります。

谷口：今後の展開についてお聞かせ下さい。

原：アジアでは今まで以上に積極的に展開したいと思っています。現在、ベトナムで調査業務を行っております。現地の営業はまだ十分ではありませんが、ODAによる実績があるので、仕事の問い合わせを頂いたり、商社や病院のトップの紹介で弊社を指名して頂いたりしています。国内では、2012年の創立60周年を機に、Σ総合研究室を設立しました。シグマの社章のごとく、新たな英知を積み重ねて力強く前進することを意図しています。10年後、20年後の病院設計を予測し、現在の研究を活かして、未来に躍進しようと考えております。

谷口：では最後に、若い人達に一言お願いします。

原：学生参加のコンペで工学院大学の学生が受賞するのが楽しみです。ストレスに負けずに果敢に挑んでほしいと思います。建築のデザインに興味を持ち、大きな志を持ち続けて下さい。

近代建築を支えた建築家の系譜

工学院大学が輩出した人材の足跡を訪ねる



輝かしき先輩たち ⑮

類洲 環



mook 01

フロンティアの建築家新山平四郎

平井 充



mook 01

尾辻国吉の台湾における事績

蔡 龍保

輝かしき先輩たち

⑮

類洲 環



岐阜建築界のパイオニア

佐藤 信次郎

Sinjiro SATO 1898 - 1978



ブログ「かどの煙草屋までの旅」

『依佐美通信所が建てられる少し前の大正未頃、同じ東海地方の岐阜市で表現主義風の建物が竣工しています。岐阜で建築事務所を開いていた河村鹿市と佐藤信次郎が手がけた岐阜県図書館で、こちらは現存していますので見学可能です。』



ブログ「パワースポットと歴史ゆかりの地を訪ねる」

『石原美術は、岐阜県で最も早く一級建築士になったといわれる佐藤信次郎と言う建築家が設計したもので、この建物はユークレシユスタイル(ニュースタイル)と呼ぶドイツ様式で、スタンドグラスもドイツで製作したそうです。』

下調べは万全だ。久し振りの高揚感に震えた。収穫の多い取材になる……はずだった。

類洲 環 | Kan RUISU

岐阜県で最初を、次々と……

佐藤信次郎は、1898年(明治31年)、東京・京橋に生まれた。双生児の兄であった。生家が何を生業にしていたかは定かではない。1917年(大正6年)7月、工手学校建築学科を卒業する。第56回生で、同窓には55名いた。すぐに、あめりか屋に就職する。あめりか屋は、1903年(明治42年)に創立された住宅専門会社である。

しかし、何があったのか、また当時の徴兵制度がどうなっていたのか詳らかにしないが、翌年の10月には中国の青島や天津を旅した後、工兵隊19大隊に所属し朝鮮に赴いている。1921年(大正10年)、工兵隊19大隊第一中隊三年兵を除隊になり、天津に戻っている。そして、帰国である。

住み着いたのは、大阪であった。柳下建築事務所(所長:柳下実)に職を得る。この事務所で、信次郎は、ある人物と同

僚になる。河村鹿市である。河村は、1897年(明治30年)、岐阜県揖斐郡大野町に生まれ、1923年(大正12年)に早稲田大学理工学部建築学科を卒業して柳下建築事務所に入所していた。

河村の出身地をリフレインしていただきたい。“岐阜県”である。河村との出会いは、信次郎のその後の建築人生を決定づけることになった。河村に、故郷の小学校の設計依頼が舞い込んだ。事務所にではない。河村個人に来たのだ。受けるには事務所を辞めなければならない。しかも一人で仕切れる規模ではとてもない。河村は、信次郎を誘った。ここに「河村・佐藤建築事務所」が誕生する。1924年(大正13年)、場所は岐阜市春日町高野……岐阜県で最初の建築事務所であった。

事務所の初作品は、もちろん河村が受けた故郷の小学校「席田尋常高等小学校」である。竣工は1925年(大正14年)、これ

もエポックを刻んでいるのだが、岐阜県で最初の鉄筋コンクリート造の教育施設として評判を呼んだ。

そして、代表作の「岐阜県図書館兼会館(現:岐阜県教育会館)」である。竣工は1926年(大正15年)。鉄筋コンクリート造、2階建て。資料は伝える。

「正面入口にアーチ形式、また上部の円弧形と側面の大きな山形でアクセントをつけ、表現主義風な容顔で異態を呈していたという」

(『総覧日本の建築第5巻東海/新建築社/1986年』)

“異態”…恥ずかしながら、大好きである。で、カメラの電池を確認し、所在地である岐阜市美江寺町2-1に、意気揚揚と出かけました。

ない! 汗をかきかき走り回って探した。ない。通りがかりの男性に、聞いてみた。男性は冷ややかに言った。「一年前に解体されたよ」残念!!



席田尋常高等小学校。佐藤信次郎の母校。1925年施工



岐阜県図書館兼会館：ファサードの中央部分の“円形”を重ねた造形は完璧な表現主義。この名作が1年前に解体されていたとは 撮影:shortwood、ブログ「かどの煙草屋までの旅」



石原美術：信次郎の設計でもないのに、何故、堂々と写真を載せるのか？傑作だからだ。観ていれば絶対に幸せになるでしょう



大垣市守屋多々志美術館：信次郎の現存する唯一の作品。表現主義が面目躍如している。築88年、保存してくれた関係者に感謝！



1937年(昭和12年)丸物百貨店の現場にて



佐藤邸：素晴らしい数奇屋建築だ。この家を残し、生活をされている信次郎のお孫さんご家族にも感謝である

「河村・佐藤建築事務所」は1927年(昭和2年)に解散する。3年間の共同経営であった。さてはと、ワイドショー・オタクの人たちならいろいろと憶測しそうだが、いわゆる発展的解散で、以後、岐阜市内にそれぞれの建築事務所を開設し、河村の結婚式には信次郎夫妻がつとめるなど、河村が亡くなるまで1947年(昭和22年)、公私ともに交流は続いたという。

現存する作品がなくなった!

意気揚揚から意気消沈。でも、もう一つの作品が残っている。「石原美術」である。「岐阜県図書館兼会館」の幻影を引き摺りながら、猛暑のなかを歩くこと約20分。「石原美術」は“現存”していた。

素晴らしいアール・ヌーヴォー建築だった。元気は回復、暑さも吹き飛んだ。一渡り見学し、落ち着いたと同時に、ある疑問が沸々と湧くのを抑えきれなくなってきた。「石原美術」は、信次郎の作風ではない!

信次郎の真骨頂は“表現主義”である。もとより、当時の建築家は、和風も様式もこなし。しかし、「石原美術」のアール・ヌーヴォーは本格的である。設計者は相当の手練だ。学校の授業で、カラス口を走らせながらギリシャ建築を模写したぐらいではとても及ばない才能だ。信次郎にその力量はないとはいわないが、目指しているものが端から違うのだ。

建築は、時代を濃厚に刻む。信次郎が河村と事務所を持つ少し前の1920年(大正9年)、分離派建築会が華々しく開の声を挙げた。ドイツの表現主義に深く傾倒し、建築は個性の表現と謳う彼らの行動には、地方で同じ設計を生業にする信

次郎にとって無関心ではいられなかったはずだ。分離派のメンバーは、皆、信次郎と同世代だ。山田守、堀口捨己……。 「岐阜県図書館兼会館」の正面アーチは、山田守の「東京中央郵便局」1925年(大正14年)のパラボラ型アーチを彷彿とさせはしないか。

「石原美術」の竣工した1914年(大正3年)から推察しても、合点がいかない。この時、信次郎は16歳である。工手学校も卒業していない。まだ、岐阜と縁も縁もない。「石原美術」の前身は「日下部汽船本店」である。日下部汽船は、岐阜県羽島市出身の海運王・日下部久太郎の興した会社である。

岐阜市に本店を持つ実業家と、岐阜市で最初の一級建築士を得た建築家が出会うのは時間の問題であったが、大正3年は、いかにも早い。

日下部汽船から信次郎に最初に仕事依頼されるのは1930年(昭和5年)である。「神戸支店改造」である。その後、1940年(昭和15年)まで、8件ほどの施設設計をする。

蛇足だが、久太郎は、兵庫県神戸市垂水区の舞子海岸を見下ろす高台に「別邸」を建てた。1915年(大正4年)である。現在も「舞子ホテル」として活用されているのだが、これがまた半端ではないアール・ヌーヴォー建築なのである。巷間には「石原美術」と「舞子ホテル」は同じ設計者で、なかには佐藤信次郎と高らかに宣言しているものもあるが、本当だろうか。執拗だが、信次郎が建築に求めているのは“精神性”であり、“装飾”ではない。

「石原美術」が信次郎の設計でないとなると、彼の現存する建築はなくなってしまうのか。

独立してからの代表作である「丸物百貨店岐阜支店」1937年(昭和12年)は鉄筋コンクリート造、地下1階・地上9階、延床面積3,179㎡の市内で最大規模のデパートであったが、残念ながら、もうない。

作品譜の最後に記されるのが「山林会館」である。竣工は1957年(昭和30年)だ。残っているのか・いないのか。八方に手を尽くしたのだが、判然としない。

じゃあ、信次郎の現存する作品は皆無になってしまうのか？ これでは物語にならないと、藁にも縋る思いでインターネットを繰っていると、捨てる神あれば拾う神あります。ありました!

「大垣市守屋多々志美術館」である。

河村・佐藤建築事務所時代の1925年(大正14年)に「大垣貯蓄銀行ビル」として竣工。鉄筋コンクリート造、地上3階建て。その後「名鉄マルイ」となり、2001年(平成13年)に「大垣市守屋多々志美術館」として再生した。

守屋多々志は、大垣市の出身で、同市の名誉市民であり、文化勲章受章の日本画家である。「大垣市守屋多々志美術館」は、守屋家と大垣共立銀行の協力により、改修の後、大垣市が無償で借り受け、暫定的に整備したものである。

大垣共立銀行・総務部管財課の許可を受けて、ホームページより外観を紹介するが、壁面を段々に凹ませているところや、コーナー部に丸形を配しているところなど、表現主義が面目躍如している。

同じ人生なら、楽しんでいこう

信次郎のお孫さんが岐阜市内に、ご健在であった。いろいろと資料を閲覧させていただいて、信次郎の私生活にも近づけた。音楽が好きで、自らバイオリンも

嗜んでいた。しかし、何に感動したかといえば、ご自邸であった。見事な数奇屋建築なのである。聞けば、戦後、信次郎が根尾という村にあった家屋を移築したものであった。京都の「残月亭」の写しだそう。下地窓、欄間、床の間などに数奇屋の粋な“匠の技”が横溢している。

“表現主義”と“数奇屋”……声高に主張しないけれども、密かに“個性”をちりばめるところなど、根は一緒である。そういえば、信次郎は著作を5冊ほど残している。『空襲体験の手記』から『或る旅日記』まで、硬・軟をこなし、みんな名文である。その1冊から紹介する。

「柳ヶ瀬に丸物百貨店が建設される時、私はその基礎工事(総地下室)が湧水のため、非常に困難であろうこと、従って水圧による根切崩壊の危険があり、隣接の高層建築(大垣共立銀行)に対する災害予防には万全を期すべきことなどを指示しましたが、果して堀方が地下2メートル程の深さに達すると、物凄い湧水で、一分として浸っておれないような冷徹な水が何十馬力のポンプを以てしても、替え切れない程の勢いで湧水したのです。当時、面白半分に計算したことです。この水を四斗樽につめてならばと地球を一周りするほどの量であったと記憶しております」(『けんちく風流談』/1964年)

その「丸物百貨店」が何とNHKで報道されたのだ。記事は伝える。

「丸物百貨店は、戦前から岐阜市にあった唯一の百貨店で、まさに岐阜のシンボルでした。当時はめずらしい鉄筋の建物だったために、空襲にもすすけた姿で焼け残り、戦後の復興にはきれいに塗り直されて営業を再開しました。

2000年(当時は近鉄百貨店)ついに取り壊しが決まった際、空襲被害ですすけた壁の、一部を切り取りました。最上階の従業員用の階段、踊り場部分の壁だけが、戦後ずっとそのままに残されていたからです。いま平和資料室に展示されているその壁に、NHK岐阜支局の小川記者が注目し、戦後記念向けの報道特集を作ってくれました。『戦前、戦災、戦後の復興までを見もった丸物の壁』物語です。報道は、8月13日(東海北陸全域)、14日(岐阜地方)と2夜に渡って放映され、多くの反響をいただきました。」(ホームページ「岐阜平和通信」より引用)

佐藤信次郎は、1978年(昭和53年)に逝去する。享年80歳であった。東京の京橋の生まれとはチャキチャキの江戸っ子である。その生粋の江戸っ子が、岐阜県という東海の一地方を終の棲家とした。人生の不思議を感じてならない。

帰りの新幹線のなか、缶ビールを傾けながら、佐藤信次郎とは、どういう人だったのだろうか、改めて想いを馳せた。

岐阜に落ち着くまでに、そして落ちていてからも波乱万丈だったに違いない。信次郎は、その波乱万丈を楽しんでいたように思えてならない。もちろん不屈の闘志が底辺に流れていたのは間違いないが、彼の建築の作風、自邸、著作の幅と文体、そしてバイオリンの趣味などから察するに、たかが人生・されど人生、同じ人生なら、悩まずに、楽しんで過ごすというのが信次郎の信条だったような気がする。読者の皆さんも、ぜひ人生を楽しんで下さい。

—やはり、期待通りの収穫の多い取材になった。



信次郎は岐阜市の空襲後の街並みを数多く撮影している。その貴重な写真が2010年(平成22年)7月、平和資料室に展示された

※今回ほど、いろいろな方にお世話になった取材はない。信次郎のお孫さんの佐藤展正さんご夫妻、石原美術の石原忠光様、日本建築学会東海支部、日本建築家協会東海支部、大垣市守屋多々志美術館、大垣共立銀行・総務部管財課、岐阜県図書館、そして名古屋市立大学名誉教授の瀬口哲夫先生、席田小学校教頭の山下哲也先生、shortwood様、篠崎喜樹様、陽陵泉様、誌面を借りて、改めてお礼を申し上げます。

本当に、ありがとうございました。



類州環 Kan Ruisu

- 1945 東京都立川市生まれ
 - 1964 昭和第一工業高等学校建築科卒業
 - 1968 工学院大学建築学科卒業(堀越研究室)
 - 1973 新建築社編集部入社
 - 1997 環編集室設立
- 著書:『加牙組忍法帳〜いざ戦わん、真田新勇士!』『西洋館炎上』『一小わくわくクラブ奮闘記Part2』『建築21世紀はこれからだ』(共著)

NICHE PASSPORT



若者よ、旅に出でよ！

1999年より工学院大学建築学部同窓会では、在學生に海外研修の軍資金のサポートを行っている。志の高い若者には、海外で見分を広め、新しい体験に心を振るわせ、異文化に触れた感動を日本に持ち返ってほしい。2013年度に旅した6名は何を見聞きしてきたのだろうか。実感のこもった世界7カ国でのレポートが、私たち読者を誌上の旅へと誘ってくれる。



歴史街に寄りそう街、ローマ
八嶋 一志



アメリカ2都市の美術館を巡る旅
岩澤 美帆



マダンを通して韓国に心を通わせる
康 あんな



多様な都市文化を巡る旅
久保田 慈子



環境先進国スウェーデンとデンマークのまちづくりを学ぶ旅
関野 茉祐



ドイツ・イギリス バスの旅
原口 彩

マダンを通して韓国の心に触れる

康 あんな



庶民のマダン。日常的に様々な行為（洗濯、漬物づくり、農作業）が行われる重要な場所

世界遺産の慶州良洞村。人々が伝統に寄り添い、生活を営んでいる



韓国特有の空間「マダン」調査のため、慶尚北道の安東河回村、良洞村を訪れた。その他に江原道の束草、鉄原、忠清南道の天安を訪れ、首都ソウルでは現代建築を見て回った。

世界遺産の村へ

安東河回村は600年前より豊山柳氏と呼ばれる一つの姓を持つ人々が集まり代々暮らしてきた村で、2010年に世界遺産に登録されている。この村の特徴は、風水の「背山臨水」という考え方に基づいた立地条件のもと、村が構成されているところにある。ここでは住宅のマダン进行调查した。マダンとは韓屋と呼ばれる伝統住宅の敷地内外にある、土を踏み固めた平らな外部空間を指す。何も無い空間ゆえ、多目的な用途に用いられる。住宅のマダンは、洗濯を干したり、調味料を甕に貯蔵したり、農作業の場所として用いられることを確認した。

小正月の綱引きを体験

良洞村は慶州孫氏と驪江李氏の2つの家門が500年前より住み続けている村だ。河回村と共に2010年に世界遺産に登録された。この村の特徴は、平民の家である藁葺きの家が低いところにあり、両班と呼ばれる貴族の家が高台にあるところである。自分たちの土地と働き手たちを一望できるように、と両班が主従関係を高低差に表現した。ここでは集落のマダン进行调查した。マダンは住宅に限らず集落内部にもある。土を踏み固めた平らな外部空間で、農作業や村の祭祀といった多目的用途の空間であると同時に、集落の共同体を象徴する場でもある。偶然にも滞在日が小正月「テボルム」にあたり、集落内のマダンで「チュルタリギ」という綱引きの神事を体験することができた。

マダンの過去と未来

河回村、良洞村では、「民泊」と呼ばれる古民家での宿泊体験をした。河回村では150年前に建てられた藁葺き屋根の

古民家に宿泊し、良洞村では文化財に指定されている二香亭に宿泊した。二香亭では使い込まれた床下暖房オンドルの暖かさを体感できた。

天安にある壇国大学校を訪れた際には、緑地造景学科の先生の計らいで、ソウルにある北村、都心部の狭小な韓屋におけるマダン进行调查することができた。

近年、マダンは朝鮮半島固有の空間概念として、建築やランドスケープのコンセプトとして用いられている。韓国のまちづくりではコンセプトにマダンを用いた近隣公園をつくる動きがある。ソウルのヤンジ公園はソウル大学で教鞭をとるランドスケープの専門家と、学生、地域住民が一緒になって計画・設計したもので、維持管理は住民によって行われている。ここで住民が運動や談笑する様子を見ることができ、地域に根付いた憩いの場としての現代のマダンのあり方を垣間見ることができた。

卒業研究は続く

朝鮮半島で生まれたマダンは時代とともに変化し、また海を越え、日本の在日コリアン・社会の中で祭りとして根付いている。日本におけるマダン研究は住宅内のマダンに関するものが多く、集落のマダン研究はほぼ手付かずである。そのような中、今後もマダンの変遷を追い、伝統的なマダンが時代と共にどのような空間的变化を遂げたのか調査を続けたい。



村の入り口のマダンで行われた小正月「テボルム」の祭祀。新年の災いを取り払い、平穏な一年を願う



ヤンジ公園のマダン。住民同士の関係が薄い現代社会では共同体の象徴として用いられる



康 あんな Anna Kang

1986 大阪生まれ
2005 大阪府立刀根山高等学校 卒業
2011 大阪芸術大学 芸術学部環境デザイン学科 卒業
2012 工学院大学大学院 工学研究科建築学専攻 (篠沢健太研究室) 入学
2014 工学院大学大学院 工学研究科建築学専攻 修了
韓国の清州国際工芸ビエンナーレ2011にて日本向けの広報を担当。学部時代より、都市や建築の写真を撮り続けている。

NICHE LETTER

近況報告

NICHE LETTER

設計の段取りを活かす料理の仕事

HOME.

フルタ ヨウコ



設計の段取りを活かす料理の仕事
フルタ ヨウコ



mook 01

建築と写真と建築と
中田 聡一郎



mook 01

スウェーデンヒルズゴルフ倶楽部
笹栗 達夫



mook 01

仕事色々
片岡 照博



自由大学の「朝ごはん学」では料理をいかに美味しくように撮るかも教えている。
朝の光は柔らかいので、逆光で撮影するとよい、という例



2013年11月6日 IFFT 旭川家具ブースのためのケータリング。旭川の食材と器を活かしたテーブルセッティングを行った。正面から時計回りにトマトのゼリー、マッシュポテトのカナッペ、旭川産のチーズとお米のおむすび、リンゴのケーキ、鹿肉のカナッペ

文章、写真、料理の仕事

私は学生時代、建築が好きで建築家になりたいと思っていた。国内外、新旧問わず建築を体験しに行き、様々な建築やデザインの本を読み、興味のある建築家の講演会があると足しげく通い、設計事務所でアルバイトをする建築オタクだった。しかし縁あって就職した先は家具屋。そこでデザイン関係の展覧会の企画を担当した後に、編集者、ライター、カメラマン、料理家とさまざまな仕事の経験を積んだ。現在の建築関係の仕事というと、数年前から雑誌『住宅特集』で不定期に連載している「建築家自邸からの家学び」のみ。しかもライフスタイル全般を見渡してきたスタンスから、建築家のご家族へのインタビューをして欲しいというオファーがあったから。

朝ごはん学を学ぼう

現在は東京・池尻にある自由大学で「朝ごはん学」という講座の教授を務めている。「ライフスタイルを変えるためには、朝ごはんのとりかたを学ぶ場を作りたい」というキュレーターからの依頼だった。私は料理家、カメラマン、編集者をしているので、料理はもちろんのこと、器、インテリア、テーブルスタイリング、そして朝ごはんの光景を撮影して記録することまでを含めて「朝ごはんの時間」を作る。朝ごはんの時間をいかに充実したものにするかでその日1日が変わる。毎日ちゃんとした朝ごはんを食べることによって暮らしが変わる。暮らしかたも編集次第なのだ。

段取りなくして成功は無し

建築家という職能には複合的な視点が必要だ。ただ建物＝箱を設計するだけでなく、建物を快適に使用するためには、動線、光の入り具合や温度、目的に応じた大きさや素材を吟味してシミュレーションすることが必須だと思う。料理の仕事も然りで、料理の食材、その料理を盛りつける器、それを食べる場所をすべて考えることが欠かせないので、建築と料理は「段取り＝編集力が重要である」ということで通じていると感じている。

展覧会の企画をしている時に多くのデザイナーやメーカーの方と知り合い、デザインの展示会でパーティの料理をよく担当させて頂いている。毎回、パーティのテーマや展示作品の意図だけでなく、予算や客層をヒアリングし、主役のデザ



工学院大学にて、横文彦氏を囲む懇親会。「スクエアでスマートな都市」という横先生のイメージに合わせた料理とテーブルセッティング。先生の好物であるというグリッシーニを樹にみたくて、プチトマトのハチミツマリネやキャベツのハーブマリネなど、さりげなくひと工夫加えた料理を連続して置くことによってまっすくな街路を作り上げた

インを引き立たせる料理やドリンク、テーブルコーディネートを考え出す。参加者が200人にのぼるパーティもある。食材を調達して料理をつくり、当日短時間でテーブルセッティングを仕上げるには、段取りなくしては成功は有り得ない。規模が大きくなればなるほど、緻密な段取りが必要になればなるほど、学生時代に設計事務所でアルバイトしていた時のことを思い出す。料理の仕事や料理家のアシスタントなどを経ずに今までやってこられたのも、実際に設計の仕事を見ていたおかげである。建築を学んでいなければ、現在のような料理の仕事をしていなかったのでは、充実した仕事をしていなかったのでは、と思っている。



フルタ ヨウコ Yoko Furuta

- 1973 東京都立川市 生まれ
- 1992 日本大学第二高等学校 卒業
- 1997 工学院大学 工学部建築学科 卒業 (澤岡清秀研究室)
- 1997 BC 工房 入社
- 2000 フリーランス
- 2012 株式会社クラシコムが提供する「暮らしのしごとサポートプログラム」の支援を受けた活動を開始
- 2013 初のレシピ本発売『果物のごはん、果物のおかず』(誠文堂新光社)
株式会社クラシコムの食にまつわる子会社 KURASHI&Trips 株式会社共同設立

NICHE GALLERY

卒業生の新作紹介

NICHE GALLERY

照明デザイン 新宿イースト サイドスクエア

sola associates

三井 敦史



照明デザイン 新宿イーストサイドスクエア
三井 敦史



mook 01

山形エコハウス
持田 正憲



mook 01

2013年復興計画 自力建設の実例
石田 信男



mook 01

コダチノイエ
伊藤 潤一



地下サンクンガーデンから1階庭園への吹き抜け

光の動線をつくる

私たちのような照明デザイナーは、建築設計者と協働する中で、建築のコンセプトや構成を読み取り、光を使った様々なアプローチを行う役割を担っている。オフィスビルのプロジェクトにて、光を計画する上では光の動線が特に重要だと考えた。利用者が気持ちよく、わかりやすく、メリハリを持って楽しく昼夜問わず過ごせるような光環境をつくることを意識して設計した。

新宿イーストサイドスクエア

計画地は『東新宿駅』と直結した場所にある。多様な都市機能をもつ新宿副都心の東端で、地下鉄副都心線と大江戸線が乗り入れている地上20階、地下1階のオフィスビルだ。北側地下で地下鉄

駅と接続し、オフィスワーカーのための商業施設が配置されたサンクンガーデンを緩衝帯として、2層吹き抜けのオフィスエントランスに繋がっている。建築デザインは、マッシブなオフィスビルと有機的な曲線を持つランドスケープが貫入しあう構成である。照明計画ではこの境界部分を強調し、施設構成が浮かび上がるような光の配置を行った。また、建築とランドスケープの要素を取り入れた「点・線・面」の光というコンセプトを元に、まちと施設外構、外構と建築のデザインの融合を図った。

地下サンクンガーデン

地下1階には飲食店、医院、フィットネスクラブが配置されている。ランダムな床パターンにあわせた床埋込ライン照

明と植栽へのアッパーライト、ベンチ下のフットライトで賑わいをつくり、落ち着いた明るさのオフィスロビーとのコントラストを明快に演出した。床面と大階段に建築外装のランダムな開口をモチーフとした「点」の光を配置し、利用者をオフィスエントランスから地下駅へと導く。また、店舗サイン上部に設置したアッパーライトからの「面」的な光で天井を照らし、空間の広がりや安心感のある商業空間を演出した。

光の連続性

建物内部では地下と1階を貫通する吹抜空間が南北に設けられている。サンクンガーデンの2層構造を強調するため境界となる手摺に「線」的なフットライトを配置してシンボル性を高めた。オフィ



地下と1階を南北に貫通する吹抜空間



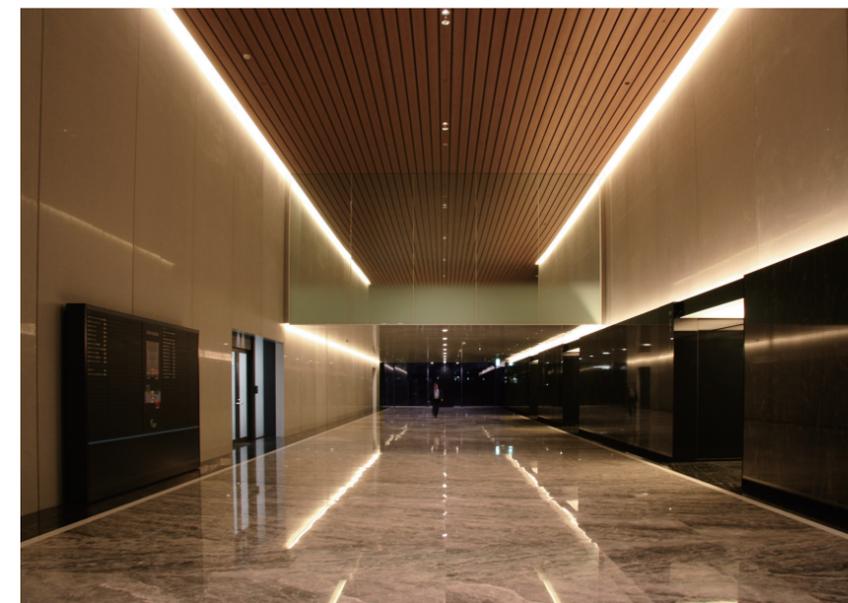
内部のエントランスロビーへ続くデッキ

スロビーへと続くデッキの手摺は外部の庭園から連続しているため、照明でも内外の連続感をつくり出した。機能的な明るさをもった光で視覚的な効果を演出し、照明要素を減らして省エネルギーを図った。

エスカレーターで1Fへ上がるとオフィスロビー空間が広がる。上下配光の特注ペンダントライトを設置し、床と天井面の明るさを確保しつつ、商業エリアよりも落ち着いた明るさを演出した。そして、ロビーからオフィスエントランス、エレベーターホールにかけて次第に明るめの光環境に変え、オフィス空間へ誘うように光のボリュームを変化させている。



特注ペンダントライトを設置したオフィスロビー



オフィスエントランスからエレベーターホールへ

左 2012年5月竣工の新宿イーストサイドスクエア。北側外構およびサンクンガーデンを見下ろす



三井 敦史 Atsushi Mitsui

- 1978 東京都生まれ
- 2003 工学院大学 工学部建築学科都市建築デザインコース 卒業（渡辺定夫研究室）
- 2005 工学院大学大学院 建築学専攻 修了（倉田研究室）
 有限会社ソラ・アソシエイツ 入社
 北米照明学会賞、日本照明学会普及賞など受賞
 主なプロジェクト
 赤坂サカス 上海環球金融中心 南海なんば駅
 大阪タカシマヤ 愛知大学名古屋キャンパス 燕市新庁舎 地球市民交流センター

また会う日まで

宇田川先生、谷口先生、吉田先生、大変おつかれさまでした。皆様のますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。尚、今年6月にはNICHE出版会より「谷口宗彦 最終講義」の発刊を予定しています。乞うご期待！

1977年4月、31歳のときに専任講師として着任して以来37年が経過し、本年3月に定年を迎える。

専門は環境工学で、設備基礎理論と設備演習が最初の担当科目であった。着任時の新宿キャンパスは4階建の本館と9階建の新館で構成されていた。本館は工手学校以来の伝統ある建物で、その4階に研究室を与えられ、現在まで続いている太陽熱利用建築や建築熱環境シミュレーションの研究を始めた。新宿キャンパス高層棟の竣工は平成元年、1989年であり、研究室は24階になった。工学院での前半12年間は旧校舎、後半24年間は超高層校舎で過ごしたことになる。この間、八王子キャンパスも3号館の教室・設計室、11号館の実験施設が整備された。

これまで、卒論生440名、修士23名および博士4名を送り出した。また、大学院生やOB、OGの諸君とは、日本建築学会、空気調和・衛生工学会、日本太陽エネルギー学会など、またISESなど国際会議でも沢山の発表を行った。IEAやISOの国際的な委員会への出席も含め100回以上の海外出張も行った。

このように、この36年間、工学院大学教員として大変に充実した時間を過ごすことができた。皆様に、深く感謝する次第である。

宇田川 光弘



- 1946 福島県相馬郡原町(現南相馬市)生まれ
- 1965 早稲田大学高等学院 卒業
- 1969 早稲田大学 理工学部建築学科 卒業
- 1971 早稲田大学大学院 理工学研究科 修士課程 修了
- 1977 早稲田大学大学院 理工学研究科 博士課程 単位取得満期退学
- 1977 工学院大学 建築学科 専任講師
- 1980 工学院大学 建築学科 助教授
- 1991 工学院大学 建築学科 教授

私は昭和40年、1965年4月、工学院大学建築学科に入学した。修士課程修了後、本学に助手として採用されて以来、今春無事に定年を迎え、半世紀を経てやっと母校を卒業できるので…実に感慨深いものがある。

この間、恩師山下司先生をはじめ、多くの先生方や仲間達に支えられ、誠に幸せな運の良い人生であったと深く感謝を致している。特に様々な建築コンペや建築設計実務、中でも「新宿校舎再開発の見直し」という前代未聞の経験を体験するなど、波乱万丈の道中であつたと感無量を噛みしめている。

これまで教師の立場以外にも、学内では学

校法人の評議員、校友会・建築同窓会の役員など、最も永い期間にわたって組織的に関わることとなり、この「NICHE」の質向上に取り組めたことも大きな喜びである。また私と共に学んできた、多くの卒業生・学生諸君からも様々な感動を与えてもらい、教師冥利に尽きるものがある。

さて退職後は、もちろん建築に関する指導や講演活動は続けていくつもりでいるが、ゆとりある時間を割いて、モーターホームのハンドルを握り日本中を走破し、好きな山、なかでも「日本100名山」の残り70座を踏破することが、今後の新しい夢でもある。

谷口 宗彦



- 1946 山梨県塩山市生まれ
- 1969 工学院大学 工学部建築学科 卒業
- 1971 工学院大学 修士課程 建築学専攻 修了
- 1971 工学院大学 工学部建築学科 助手
- 1985 工学院大学 工学部建築学科 専任講師
- 1990 工学院大学 工学部建築学科 助教授
- 1997 工学院大学 工学部建築学科 教授
- 1999 工学院大学 建築都市デザイン学科 教授
- 2011 工学院大学 建築学部 教授

私が工学院大学に着任した1978年は、ちょうど第2次オイルショックの後で、日本経済は一時的に苦しい状況にあつたが、将来については明るい見通しがあつた。10年後には、いわゆるバブル期を迎えている。

私の専門の建築構法・建築生産については、当時は大学のカリキュラムに定着しておらず、建築学科の先生方にも、適切な理解をいただくのに手間取ったことが今でも鮮明に思い出される。当時は、住宅でいえば工業化構法がなお発展途上にあり、建築のシステム化が進められていた。一方、活発な建築活動により、建築ストックの蓄積にも関心が向けられるようになり、日本の建築の伝統を支える木造が注目されるようになり、全国を視野に、現場調査や業務調査を行っていた。学会や公共機関の研究プロジェクトに参加し、大勢の卒論生のパワーが生きる卒論課題を仕立て、専門や関心を共有する他大学の研究室と共同調査を行っていたところが懐かしい。

やがて、学科主任、学長補佐、常務理事などを仰せつかるようになり、時間のやり繰りが苦しい状況に陥るようになったが、そのころから、社会人特別選抜で博士課程に入ってくださいの方が続くようになり、修士に進学し共同研究への参加を志す学生も増加し、それなりに厚みのある研究室活動が展開できたことは、ありがたいことであつた。在職中お世話になつた多くの方々に、改めて感謝の念を抱かずにはいられない。

吉田 倬郎

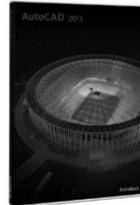


- 1965 私立高知学芸高等学校 卒業
- 1969 東京大学 工学部建築学科 卒業
- 1971 東京大学大学院 工学系研究科建築学専門課程 修士課程修了
- 1972 東京大学大学院 工学系研究科建築学専門課程 博士課程中退 職歴
- 1972 東京大学 工学部 助手
- 1978 工学院大学 講師
- 1980 工学院大学 助教授
- 1991 工学院大学 教授(現職)
- 2008 工学院大学 常務理事(2011年3月まで)

MUTOH

MUTOHなら安心です。

あらゆる設計現場で、高い信頼性と納入実績を誇るMUTOHの設計製図ツールは、教育の現場でも活躍してくれます。



AutoCAD
デファクトスタンダードの設計ソフトである**AutoCAD**は、パワフルで柔軟な機能により、身のまわりにあるさまざまなものを設計し、形にできます。



AutoCAD LT
ドラフティングと詳細図作成のための**AutoCAD LT**は、2D図面の作成、コラボレーション、生産性向上に必要なツールを提供します。

※弊社はAutoCADも取り扱っています。

LINER BOARD

UM-06N5

建築士
受験用

最大適応製図用紙サイズ：A2
製図板サイズ：A2 (451x604mm)
ゆとりの製図範囲と高精度・高操作性のコンパクトな軽量型平行定規。

精度は、設計製図機械「ドラフター」譲りで万全です。随所に、図面を汚さない「スケールフローティング機構」や厚紙にも対応可能な「ダブルヒンジ機構」など、基本性能にも妥協を許さない親切設計。

MUTOHならではのノウハウを凝縮したA2サイズ平行定規です。



一級・二級建築士受験用平行定規

株式会社 ムトー エンジニアリング 東京都世田谷区池尻3-1-3 〒154-8560 TEL(03)6758-7130 FAX(03)6758-7139

漁夫の生涯 竹一竿

余計なものは持たず、大切なものだけを守る。木造技術を基に次の世代へ技術を繋ぐ。技能五輪東京都大会建築大工の部33回優勝の実績。建築のことは、お気軽にお声をおかけ下さい。

新入社員募集中

株式会社 渡辺富工務店

代表取締役 渡辺 謹治
昭和33年 専修学校建築学科卒業

〒162-0801 東京都新宿区山吹町343 TEL03-3269-1261 FAX03-3269-2644
URL:www.watanabetomi.co.jp E-mail:info@watanabetomi.jp



日建学院グループ/建築系総合人材バンク
Nikken Career Station Co.,Ltd.

建設・不動産業界「転職・就職」専科

「転職コンサルタントが完全サポート」 あなたの転職を成功に導きます。

資格取得から就業支援まで～「働くあなたを応援する」日建学院グループにお任せ下さい。

建築系職業紹介・人材派遣のエキスパート <http://nikkencs.co.jp> ■職業紹介事業許可：13-ユ-090149 ■労働者派遣事業許可：般13-090147
株式会社 ニッケン・キャリア・ステーション ☎ 0120-810-298 / info@nikkencs.co.jp

次号予告
特集
台湾建築探訪！
「台湾の工手学校OBの活躍」「台湾のフジモリ建築」
2015年3月31日発行予定

NICHE広告出稿のご案内

全国で活躍する学友20,000名が手にする工学院大学建築学部同窓会誌「NICHE」で、貴社のPRをしてみませんか？

出稿要綱

- 掲載**
工学院大学建築学部同窓会誌
NICHE2015 vol.38ダイジェスト
- 発行日、発行部数**
2015年3月31日 20,000部
- 広告掲載料**
＜カラーページ＞
A.表紙裏 1P ￥170,000-
B.表紙裏の対向 1P ￥150,000-
C.裏表紙の内側 1P ￥150,000-
D.中面 1P ￥100,000-
＜モノクロページ＞
E.中面 1P ￥80,000-
F.中面 1/2P ￥40,000-
※消費税を別途申し受けます。

- 申込締切**
2015年8月1日
- サイズ**
天地270mm×左右210mm
- 広告データ入稿締切**
2015年9月6日

お申込・お問い合わせ先
工学院大学建築学部
鈴木研究室：鈴木敏彦

〒163-8677 東京都新宿区西新宿1-24-2
e-mail: suzuki@atelier-opa.com
電話：03-3342-1211 (代)
※申込書が必要な方はご連絡ください。

NICHE NICHE mook 01
特集 世界に羽ばたけ！
イギリスハイブリット留学2013
ミラノ工科大学国際交流2011-2013
2014年3月31日第1刷発行
214ページ完全版
特集130ページ、日英バイリンガル
ISBN 978-4-907469-00-9
定価：本体1,200円＋税にて発売中

NICHE編集部
大場光博(編集長) 大塚篤 楠昭 澤崎宏
鈴木敏彦 高木雅行 西川豊宏 濱田昭夫
平井充 山崎文久 谷口宗彦

工学院大学建築学部同窓会誌
NICHE2014 vol.37 ダイジェスト版
発行日 2014年3月31日
発行 建築学部同窓会 NICHE出版会
所在地 〒163-8677
東京都新宿区西新宿1-24-2
電話 03-3342-1211 (代)

編集デザイン：ATELIER OPA
印刷製本：研精堂印刷株式会社

建築学部同窓会年会費
郵便振込 ￥4,000-
VISAカード引き落とし ￥3,000-

構造計算適合性判定のご指名は 株式会社建築構造センターへ!!!

信頼

過去8,789件の判定実績が信頼の証です。
※平成19年8月～平成25年12月までの判定件数

迅速

的確な審査業務により、判定日数短縮を図ります。

充実

26都県の判定が15事務所で行えます。



判定エリア・事業拠点

中国エリア		
鳥取県		
島根県	山陰事務所	TEL:0852-60-0144
岡山県	岡山事務所	TEL:086-206-3310
広島県	広島事務所	TEL:082-836-4111

四国エリア		
徳島県		
香川県		
愛媛県	愛媛事務所	TEL:089-913-6555
高知県		

北海道・東北エリア		
青森県		
岩手県		
宮城県	東北事務所	TEL:022-726-5885
秋田県		
山形県		
福島県	福島事務所	TEL:024-921-5777

北関東・首都圏エリア		
茨城県		
栃木県		
群馬県		
埼玉県	埼玉事務所	TEL:048-799-3016
東京都	本社	TEL:03-6413-5777
神奈川県	神奈川事務所	TEL:045-534-7773

東海エリア		
愛知県	愛知事務所	TEL:052-202-0877

九州・沖縄エリア		
佐賀県	佐賀事務所	TEL:0952-37-7588
長崎県	長崎事務所	TEL:095-829-5222
宮崎県	宮崎事務所	TEL:0985-73-9477
鹿児島県	南九州事務所	TEL:099-299-1203
沖縄県	沖縄事務所	TEL:098-878-3501



指定構造計算適合性判定機関

株式会社 建築構造センター

本社 〒160-0022
東京都新宿区新宿2-1-2 白鳥ビル2階
TEL:03-6413-5777(代表)
FAX:03-3350-1261
E-mail:kkc-info01@kozocenter.co.jp
URL:http://www.kozocenter.co.jp

代表取締役社長 田野邊 幸裕 (建築学科 昭和44年卒)
取締役 平野 久雄 (建築学科 昭和41年卒)
取締役 鈴木 宏夫 (建築学科 昭和44年卒)
取締役 加藤 重信

重要なのは「今」の試験の合格実績

平成25年度も 合格者数No.1



試験内容の見直しや新傾向問題の増加等、常に試験は進化しています。
総合資格学院の合格実績は、常に「今」の試験の結果。
この実績こそ、「今」の試験に総合資格学院が、完全対応していることの証明です。

平成25年度 1級建築士 設計製図試験



他講習利用者+独学者 当学院現役受講生

全国 学科・製図ストレート合格者 占有率
全国ストレート合格者の
およそ3人に2人は
当学院の現役受講生!!
全国ストレート合格者1,714名中/1,086名

63.4%

1級建築士を1年で取得するなら総合資格学院

※学科・製図ストレート合格者とは、平成25年度1級建築士学科試験に合格し、平成25年度1級建築士設計製図試験にストレートで合格した方です。※全国合格者数は、(公財)建築技術教育普及センター発表による。 <平成25年12月19日現在>

平成25年度 2級建築士 設計製図試験

当学院教室開講都道府県ストレート合格者の
およそ2人に1人は当学院の現役受講生!!

当学院教室開講都道府県
学科・製図ストレート合格者
(平成25年度 学科+製図合格) 占有率

45.4%

2級建築士を1年で取得するなら総合資格学院

当学院教室開講都道府県ストレート合格者2,999名中/1,363名
※学科・製図ストレート合格者とは、平成25年度2級建築士学科試験に合格し、平成25年度2級建築士設計製図試験にストレートで合格した方です。 <平成25年12月5日現在>

平成25年度 宅建本試験

当学院基準達成
現役受講生 合格率

82.9%

8割出席・8割宿題提出・公開統一模試得点率8割以上
現役受講生 252名中/合格者 209名
<平成25年12月4日現在>

平成25年度 1級建築施工管理技術検定 学科試験

当学院基準達成
現役受講生 合格率

95.2%

平成24年度 1級建築施工管理技術検定 実地試験

当学院現役受講生
合格者数

956名

<平成25年2月7日現在>

工学院大学

平成25年度 1級建築士 設計製図試験 当学院利用率

卒業合格者102名中、58名が当学院の
講座を利用して合格されました!

56.9%

法人サポートサービス

それぞれの企業のニーズに合わせて、各種サービスを実施しています。詳しくは下記までお気軽にお問合せ願います。

各種合格ガイダンス 1級・2級建築士、宅建など、各種資格試験の概要や、最新傾向、学習方法などをご説明します。	模擬試験・社内講習会 当学院が作成した模擬試験により、社員の学習レベルを診断。さらに社内講習会により、試験対策指導を行います。	新卒採用支援 当学院が発行する建設業界向けの採用情報誌により、企業と学生との橋渡し役を担います。
Web学習サービス インターネットを利用した当学院のWeb学習サービスで、多忙な中での効率的な学習環境をご提供します。	有資格者育成オリジナル それぞれの企業のニーズに合わせた、社員教育のプランをご提案させていただきます。	願書取り寄せサービス 面倒な受験願書の取り寄せを当学院が代行します。部署ごとなどの取りまとめも承ります。

※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。

開講講座 * 1級建築士 * 2級建築士 * 構造設計1級建築士 * 1級建築施工管理技士 * 2級建築施工管理技士 * 1級土木施工管理技士 * 2級土木施工管理技士 * 宅地建物取引主任者 * インテリアコーディネーター

法定講習 * 一級・二級建築士定期講習 * 管理建築士講習 * 第一種電気工事士定期講習 * 監理技術者講習 * 宅建登録講習 * 宅建登録実務講習

総合資格学院

お問合せやご相談、講座に関する資料請求は下記までお電話いただくか、当学院ホームページでも受け付けています。

http://www.shikaku.co.jp
総合資格 検索

札幌校 TEL.011-219-3511	新宿校 TEL.03-3340-5671	岐阜校 TEL.058-277-3701	神戸校 TEL.078-241-1711	徳島校 TEL.088-657-7361
仙台校 TEL.022-217-8421	上野校 TEL.03-3832-7201	沼津校 TEL.055-930-2621	姫路校 TEL.079-224-1411	松山校 TEL.089-947-2611
山形校 TEL.023-615-2911	池袋校 TEL.03-3982-8211	静岡校 TEL.054-275-3311	天神校 TEL.0742-230-1511	天神校 TEL.092-716-2081
郡山校 TEL.024-921-0041	五反田校 TEL.03-3495-8671	浜松校 TEL.053-456-2211	岡山校 TEL.086-235-5901	小倉校 TEL.093-522-7511
水戸校 TEL.029-300-4721	吉祥寺校 TEL.0422-23-6011	名古屋校 TEL.052-202-1751	倉敷校 TEL.086-430-4711	久留米校 TEL.0942-36-7141
つくば校 TEL.029-860-3771	立川校 TEL.042-524-7841	小牧校 TEL.0568-42-1211	福山校 TEL.084-991-3811	大分校 TEL.097-540-6281
宇都宮校 TEL.028-614-4881	町田校 TEL.042-724-3061	岡崎校 TEL.0564-57-8161	広島校 TEL.082-542-3811	熊本校 TEL.096-212-6811
前橋校 TEL.027-290-2311	横浜校 TEL.045-316-6811	豊橋校 TEL.0532-57-0311	山口校 TEL.083-974-4011	鹿児島校 TEL.099-239-5711
太田校 TEL.0276-47-1051	川崎校 TEL.044-850-3411	津校 TEL.059-238-0711	高松校 TEL.087-811-2011	
さいたま校 TEL.048-642-9811	厚木校 TEL.046-297-0511	四日市校 TEL.059-359-0711		
越谷校 TEL.048-990-6971	藤沢校 TEL.0466-55-2611	草津校 TEL.077-566-6911		
川越校 TEL.049-291-5211	新潟校 TEL.025-242-2811	京都校 TEL.075-352-3011		
熊谷校 TEL.048-599-3531	長岡校 TEL.0258-32-0211	梅田校 TEL.06-4709-8111		
船橋校 TEL.047-425-8941	長野校 TEL.026-268-0811	新大阪校 TEL.06-6101-1911		
千葉校 TEL.043-290-7341	富山校 TEL.076-439-1011	京橋校 TEL.06-6882-8211		
柏校 TEL.04-7168-9111	金沢校 TEL.076-237-6811	なんば校 TEL.06-6648-5511		
北千住校 TEL.03-5284-3911	福井校 TEL.0776-20-2111	堺校 TEL.072-222-9311		

株式会社 総合資格
(一社)日本経済団体連合会
(一社)日本建築士会
(一社)全国産業人能力開発団体連合会
監理技術者講習実施機関 登録番号7
宅建登録講習機関 登録番号 第009号
宅建登録実務講習実施機関 登録番号 第5号

株式会社 総合資格学院法定講習センター
国土交通大臣登録講習機関
①一級建築士定期講習 登録番号 第5号
②二級建築士定期講習 登録番号 第4号
③管理建築士講習 登録番号 第2号
経済産業大臣登録講習機関
④第一種電気工事士定期講習 第4号

NICHE (にっち)「龕(がん)：建物の壁のくぼんだ場所の意」

niche(nich), n. {Fr.niche, form Lnidus a nest}

1. a recess or hollow in a wall usually intended for a statue, bust or vase.
2. a place or position particularly suitable for the person or thing in it.

- webster's New Twentieth Century Dictionary -